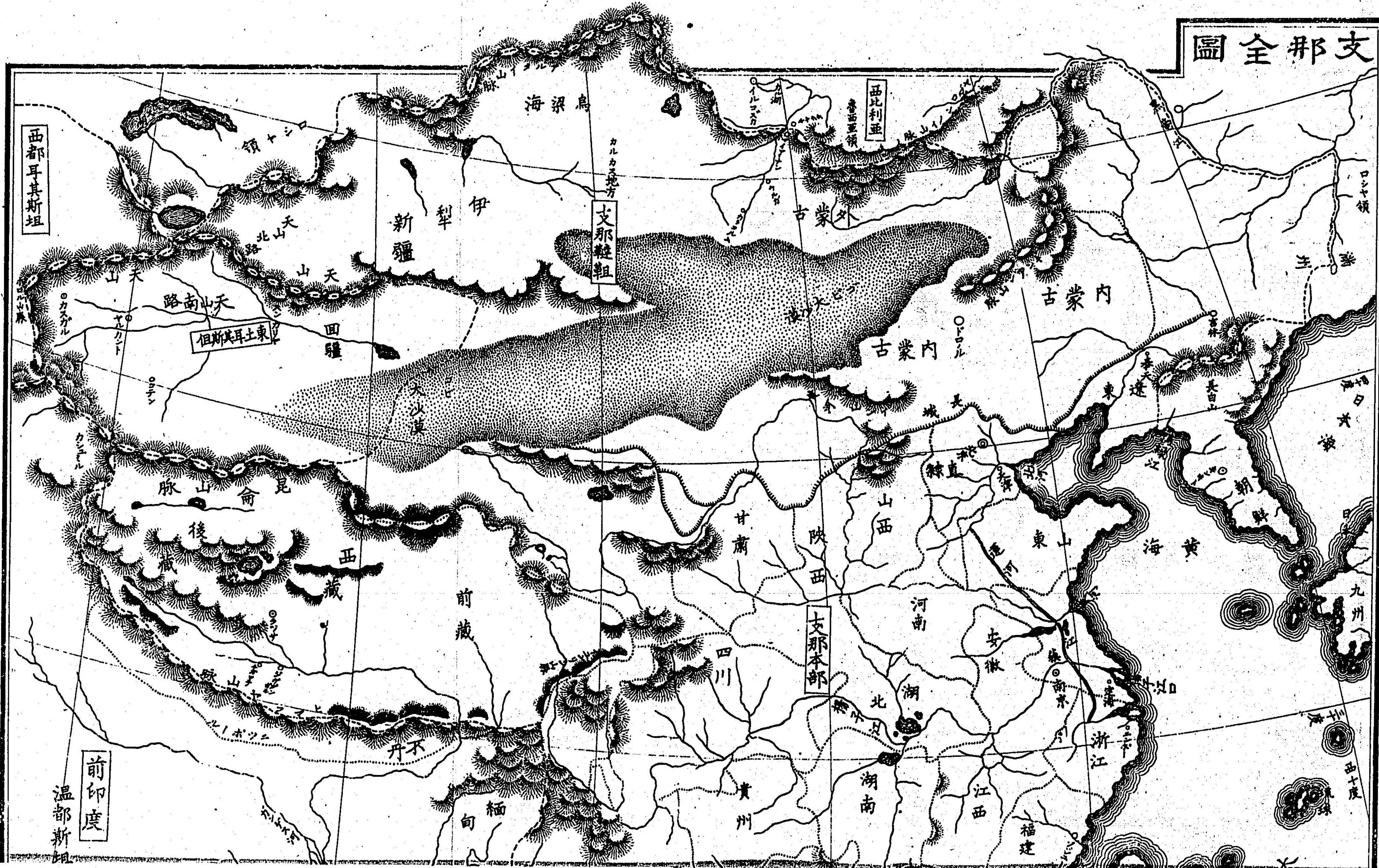


官版
輿地誌略
亞細亞洲
二

特

又
行

支那全圖



西都耳其斯坦

前印度

但斯其耳土東

支那本部

支那本部

海梁鳥

伊犁 新疆

古蒙內

古蒙內

脈山命昆

後藏

西藏

前藏

丹不

甸緬

甘肅

陝西

山西

河南

安徽

山東

海黃

九州

湖南

江西

浙江

福建

西十度

琉球

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

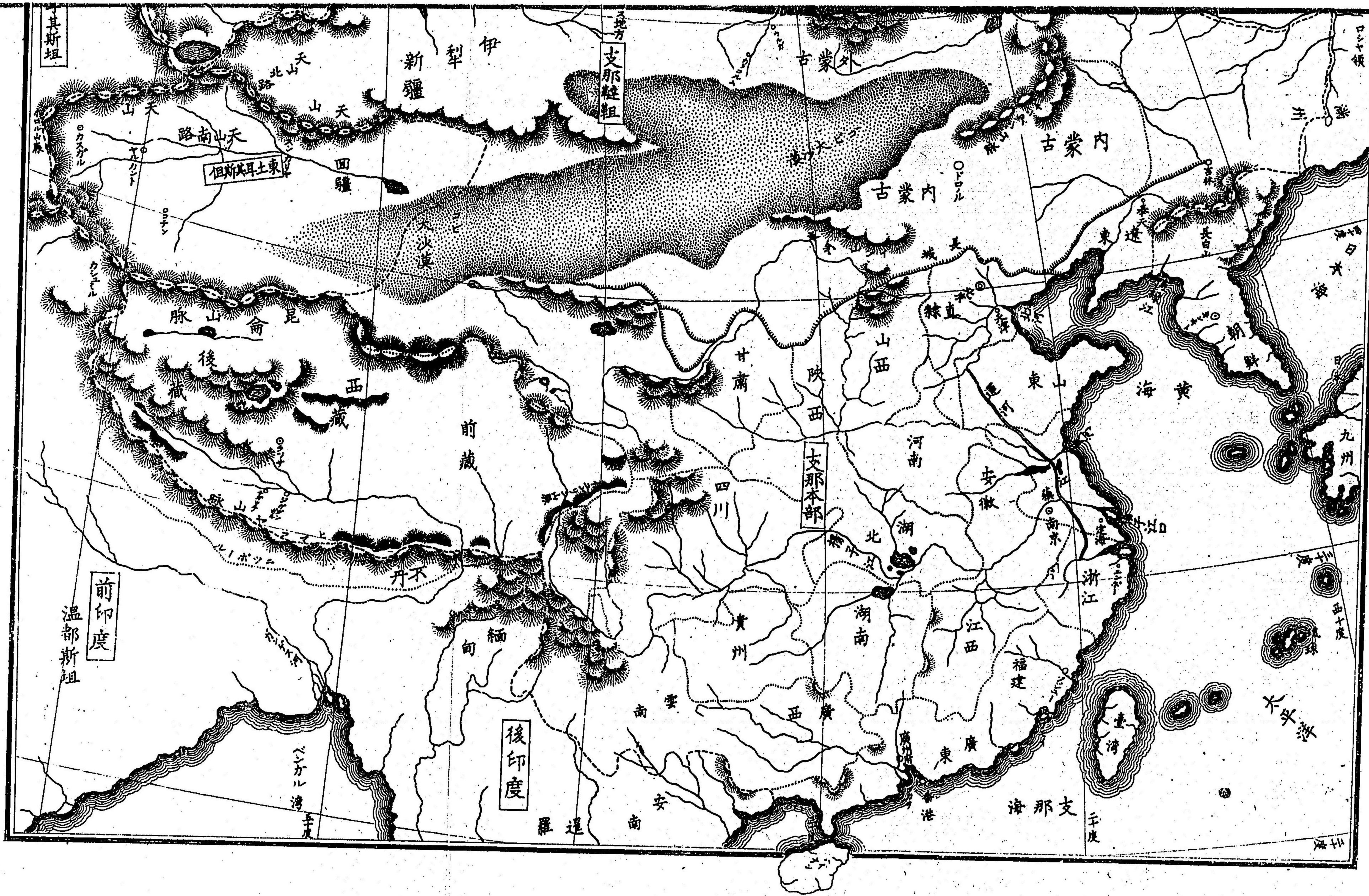
日

日

日

日

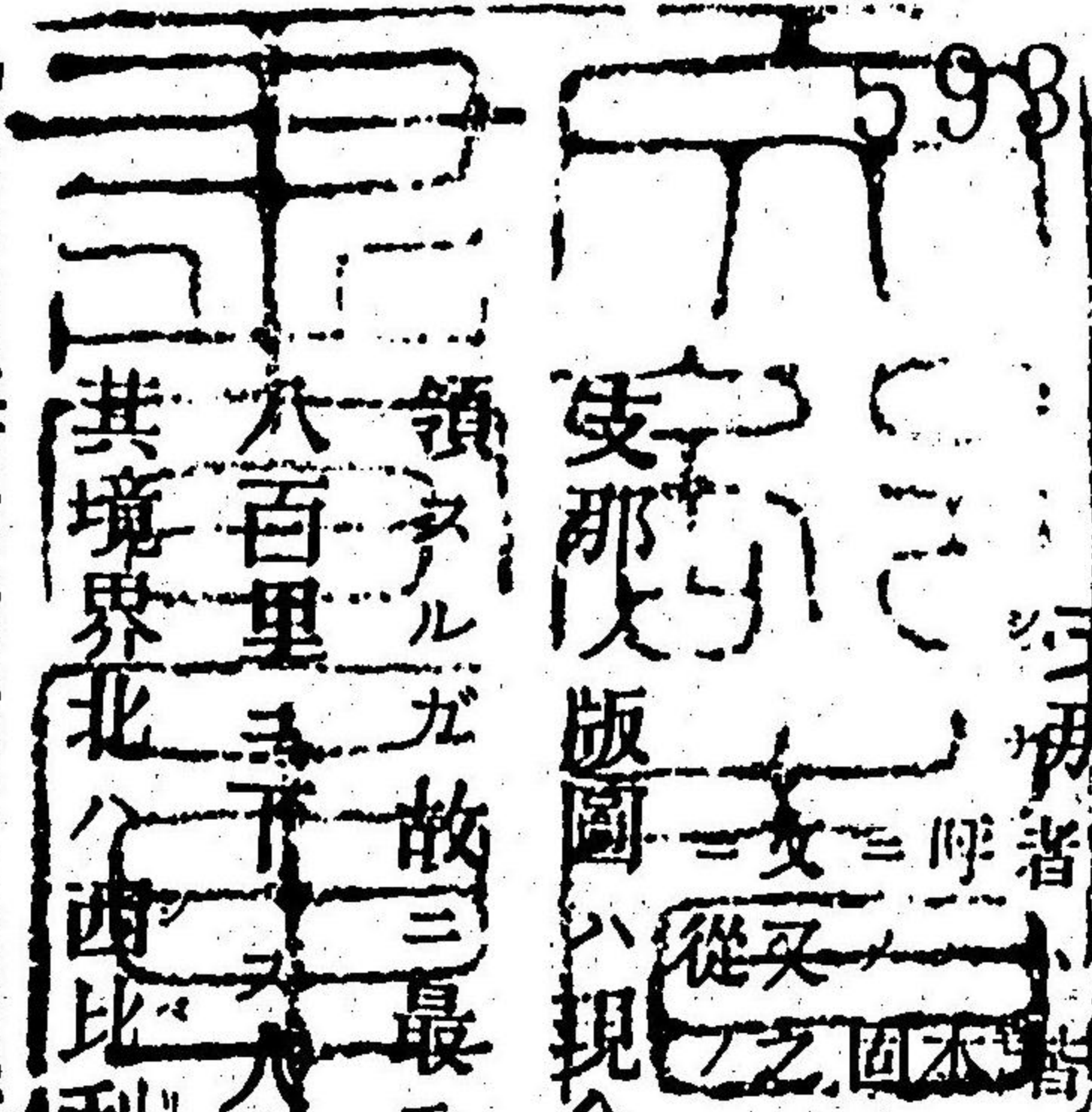
日



内田正雄 纂輯

特20

598



支那帝國ノ革命毎國號ヲ改ム故ニ漢ト云ヒ唐ト云フ
 前代ノ國號ニノ今ハ清國ト名ク又支那ノ稱
 秦代ノ國號ト其子今ハ清國ト稱スルハ英ノ讀法
 雖モヤイナト稱スルハ英ノ讀法
 從又之固本

領タルガ故ニ最モ廣大ニシテ東西ノ直徑七百四十餘里南北
 八百里ニテ人口大凡四億七千四百餘萬有リ 或ハ五億三千
 其境界北ハ西比利亞ニ接シ東ハ日本海東海ニ濱シ南ハ支那
 海ニ沿フテ前後印度ニ界シ西ハ土耳其斯坦ト境ヲ交フ其幅

員七十四萬二千六百二十方里餘ニシテ、幾、亞細亞洲ノ三分一ヲ有シ、歐羅巴全洲ヨリモ尙遙カニ大ナリ、乃、版圖ノ縱橫相連延セル、世界中、魯西亞ニ次ゲル所ノ一大國ニシテ、人口ハ之ニ六倍ス、元來支那ノ版圖ハ大別シテ之ヲ三部ニ分ツ、則其一支那本部ナプロ長城以內、其二支那、鞏、鞏、即、滿州、蒙古、伊犁、等ヲ云フ、ノ北ヨリ西ニ亘リ北及ヒ東ハ魯西亞領ニ界シ、西ハ土耳其斯坦ニ界シ、南ハ西藏ニ界ス。其三半屬國、即、西藏、朝鮮、等ヲ云フ、

支那本部ハ長城以內所、謂固有ノ漢土ニシテ、唐虞以降、歷代邦國ノ隆替、英雄ノ興亡、皆此域內ニ在リ、其幅員二十六萬方里餘、人口四億五千六百萬稱トス、乃、北ハ蒙古ニ界シ、西ハ西藏、安

南、緬甸、等ト境ヲ接シ、東南ニ海ヲ回ラシ、版圖中ノ最モ人口稠密ニシテ、且豐饒ナル部分トス、人口ヲ土地ニ平均スルハ、一里內ニ千二百九十餘人ヲ以テ算ス。此域內ヲ十八省ニ大分ス、即、直隸、山西、河南、江蘇、安徽、浙江、福建、江西、廣東、廣西、雲南、貴州、湖南、湖北、四川、甘肅、陝西、是ナリ、而シテ各省皆數多ノ府ト州縣トニ分チ、縣ハ州ヨリ小ナリ、即、州縣ハ府ニ隸シ、府ハ省ノ總督府ニ屬ス。○地勢ハ東南ヨリ中央沃野多ク、西南ハ山嶽駢列シテ、許多ノ大小川脈、其間ニ灌漑シ、最モ水利ノ便アリ、就中黃河、揚子江、ノ如キハ、亞細亞洲中著名ノ大川ナリ、又國內多クノ溝渠ヲ穿開シテ、運輸ヲ便ニス、殊ニ大ナルハ、運河ト名ケ、天津ヨリ平湖ニ達シ、長サ二百六十餘里

有リテ黄河ト揚子江トヲ貫通ス其土功ノ廣大ナルヲ想像ス
 可シ但今ヲ距ルコト千二百六十餘年前隋代ノ帝此溝ヲ穿ツ
 爲ニ十數年間常ニ三萬人ノ丁夫ヲ役シ初メテ其功ヲ全ウセ
 リト云フ又其北部ハ元代ニ於テ之ヲ増鑿セシモノナリ其他尙各州各縣ニ溝渠ノ便
 アリ處々ノ村落ニ連通セリ又國中橋梁ノ製作奇觀ナル者ア
 リ其北京ニアル所ノ者ノ如キハ長サ百十六間餘大石ヲ以テ
 之ヲ疊ミ大理石ヲ以テ數百ノ獸形ヲ彫刻シ左右ノ欄干ヲ裝
 ル就中此國ニ在テ天下ノ奇觀ト稱スルハ所謂萬里ノ長城ニ
 シテ秦ノ始皇邊疆ノ外寇ヲ防クガ爲メニ嘗テ絶大ノ土功ヲ
 起シ造築セシ所ニシテ東ハ遼東山海關ノ海濱ヨリ起リ西ハ

嘉峪關ニ達シ長サ五百十數里ニ連亘シ其間山川ヲ橫斷シテ
 高キハ直立五十丈ノ山頂ニ達シ或ハ下テ深谷ヲ巨ル城壁ノ
 高サ二丈五尺厚サ一丈五尺其外面ハ皆四角ナル煉石堅牢ノ瓦磚ナ
 リヲ疊テ之ヲ築キ内部ハ土ヲ以テ充塞ス上端ニ凹凸形ノ胸
 壁有リ又壁中彎形ノ穴道及ヒ小門等ヲ設ケ長サ六十間毎ニ
 堡寨ヲ備ヘ要害ノ地ハ寨壁ヲ二重或ハ三重ニ築造ス實ニ二
 千餘年前ノ遺物ト雖モ現今尙敗壞スルニ至ラス依然トシテ
 存セリ

此國古代ヨリ文化開ケ器械工織等ハ歐洲諸國ニ先チ特リ隆
 盛ナリシ所ナリ其書籍ヲ印行シ及ビ磁石ヲ用フル事等亦邈

カニ之ニ先チテ發明セリト云フ或ハ火藥製造ノ發明現今尙モ亦此國ニ出ト云フ絹帛、陶器、紙類ヲ製スル甚ダ著名ニシテ玉、石、象牙、等ノ彫刻物ノ如キ亦歐米各國ニ賞譽セラル歐洲ニテハ磁器ヲ支那トモ稱ス其著名ナルヲ知ルシベ

人種ハ蒙古種ニシテ身體歐洲人ニ比スレバ長大ナラズ顔面平廣低鼻ニシテ頰骨高ク肌膚黄土色ヲ帶ビ氣質温和ニシテ概チ能ク勞ニ堪フ又滿州蒙古等ノ人民ハ風俗氣象土地ニ從ヒ各小異有リ然レモ素皆同種ノ者トス○男子ハ貴賤トナク皆頭髮ヲ剃去シ頂上ニ少許ヲ遺シテ辮髮ト爲シ之ヲ背後ニ垂ル貴キ者ハ爪ヲ蓄ヘ寸餘ノ長サニ至ラシムルアリ女子ハ足ノ

小ナルヲ貴ヒ幼ヨリ之ヲ繫著シテ大ナラシメス故ニ其形馬蹄ノ如ク殆ト歩行ス可ラズ天真ノ身體ヲ傷ヒテ奇異ノ習俗ヲ爲スコト圖中ニ於テ之ヲ見ル可シ

國民ノ作業ニ於ル農商蠶桑及ビ百工共ニ古來ヨリ盛ニシ今ニ其自國ノ舊法ヲ遵奉シ更ニ他國ノ新式ニ法ヲ欲セズ故ニ器械ニ遷遠ニ安シ域内未ダ一條ノ鐵路ヲモ構造セズ又國人專ラ文學ヲ貴重シ常ニ勉勵シテ之ヲ講習ス然レモ只自國ノ經史詩文ニ通スルノミ而シテ文字ヲ知ル者ヲ尊敬シテ君子ト稱シ之ヲ撰舉シテ官ヲ授ク且ツ風俗古ヨリ禮讓ヲ重ズト雖モ徒ニ虛飾ノ末ヲ趨フテ細禮ニ區々トシ加之數千年來

君主專治ノ政令ニ基キ下民ヲ駕御セルニ因リ風教世ヲ追テ
 逡巡シ國民ノ智識モ亦隨テ消滅ス故ニ益々開化ノ進歩セザル
 ノミナラズ次第ニ其風俗工藝ノ却歩スルヲ見ル且其民情大
 率詭詐狡黠ニシテ頑固俗ヲ爲シ刑法嚴酷ナレモ罪人隨テ多
 ク殘忍ノ風習言フニ忍ヒザル者アリ又古ヲ貴ヒ今ヲ賤ミ自
 ラ尊大ニシテ中華中國ト稱シ外國ヲ視ル夷狄禽獸ノ如ク屢
 信義ヲ失シテ其汚辱ヲ蒙ルト雖モ依然トシテ舊習ヲ固守シ
 更ニ國勢ヲ一變スルコトヲ知ラス故ニ歐人ノ之ヲ蔑視スル最
 モ甚ダシ然レモ近年廟議漸ク歐米ノ開化ニ仿ヒ器械工藝ヲ採
 用スルノ舉アリ又許多ノ學生ヲ米國ニ遣シ諸般ノ學術ヲ講

習セシム其徒概テ俊才ニシテ當ニ成業ヲ致ス可キノ望ミアリ
 ト云フ幸ニシテ此輩力ヲ國ニ盡シ政府モ亦舊弊ヲ改メ竟ニ開
 化ノ方向ヲ一轉スルニ至ラバ元來富有ノ大國ナルヲ以テ正
 ニ世界ニ雄視スルヲ得ルコト或ハ期スベキナリ

○支那人ハ古來他邦ニ遷徙シ遠ク海外ニ移住セル者甚々夥
 シ即チ印度諸島オーストラリア太利亞及ヒ亞米理加洲ノ西岸等處々ニ市街
 ヲ爲シ商工ニ從事ス皆辮髮ヲ垂シ衣服、飲食、居宅等ニ至ル迄
 子孫相傳ヘテ毫モ本國ノ風俗ヲ改メス又其能ク勞ニ堪フル
 ヲ以テ洋人雇フテ使役ニ供スル者頗ル多シ殊ニ礦山ニ力作
 セシム

政制ハ君主專治ニシテ殊ニ威權ヲ上ニ私有ス乃國君ヲ皇帝ト稱シ政府ノ主宰トシテ其權際涯無ク政令法度皆民ト咨謀セシテ之ヲ特裁ス其下ニ百官ヲ備具シ政務ヲ六部ニ分テ之ヲ内閣ノ主管ニ歸ス内閣ハ皇帝親政ノ廳ニシテ四名ノ大臣有リ内閣大學士ト稱シ即專ラ政權ヲ收攬スル者ナリ内二人ハ人ヲ必ズ滿州人用テ次ニ協辦大學士以下數十名有リ但六部トハ吏部戶部禮部兵部刑部工部ニシテ其長官ヲ尙書ト名ケ各部皆二人ノ尙書アリ一人必ズ滿州人兼テ内閣ノ學士ニ任ズ其他分局冗多ニシテ官員ノ夥シキヲ舉テ數フ可ラズ皆嚴密ナル試業ニ因テ才能ヲ選舉シ官ヲ授ケ或ハ地方官等ヲ命シ之ヲ諸方ニ分遣ス然レモ其試

科及第ノ法概テ迂疎ノ論策等ヲ以テ文章ノ一科ヨリ取り之ヲ實踐ノ職ニ任ズ故ニ百般有用ノ學ニ於テハ皆更ニ試ミザルニ同シ○域内前代ヨリ久シク郡縣ノ制ヲ用ヒ諸省ニ總督府ヲ置キ地方ノ事務ヲ總管セシム但總督ハ巡撫學政等ノ諸官ト共ニ一省或ハ二省ヲ管轄又滿州ハ皇帝ノ支屬ヲ封シ王ト爲セル有リ蒙古ノ如キハ自ラ土人ノ王侯數多有リテ各部ヲ分領シ本府ニ參朝ス之ヲ蒙古藩王ト稱ス○國內ノ兵備ハ總數八十二萬九千有リテ之ヲ八旗旗色ヲ以テ分ツニ大別シ就中滿州人及蒙古人ノ隊ヲ以テ精兵トス或ハ云フ現今ハ六十萬ニ過キズト其他海軍河軍等許多有リト雖モ都テ兵制器械船艦等固有ノ舊法ヲ守リ實用ニ適スル者少ナ

シ但、晚近弓隊ヲ廢シ歐洲ヨリ巨萬ノ火器及ヒ蒸氣船數艘ヲ購ヒ入ルト云フ蓋、果ノ能ク之ニ因テ全國ノ兵制ヲ改革スルヲ得ルヤ未ダ知ル可ラズ○全國ノ收額大半米穀ヲ用フト雖モ之ヲ貨幣トシテ算スル時ハ一歲ノ總數三億零九百二十七萬圓ニ下ラスト云フ然レモ其歲額ノ出入ヲ天下ニ公布セザルヲ以テ其實ヲ詳ニスル能ハズ顧フニ君主專治ノ國ニ於テハ概テ此ノ如キノミ

域内盛大ナル都會甚、多ク人口百萬ニ過グル者七所北京、南京、廣東、福州、蘇州、開封、金得鎮、等是ナリ又人口十萬ニ過グル者ニ至ッテハ逐一算フルニ暇アラズ然レモ戶籍ノ算計精密ナラ

ザルヲ以テ其詳ナルヲ確定スル能ハス

京城ヲ北京ト名ク直隸省順天府ニ在リ國帝ノ都城ニシテ北緯三十九度五十四分、我陸奥盛岡ト大略緯度ヲ同ウス西經二十三度十六分ニ位ス此地本遼、金、元ノ歷世ノ都ニシテ明ノ太宗ニ至リ南京ヨリ此ニ遷都シ始メテ北京ト名ク今代ニ於テハ單ニ京師ト唱フ氣候ハ夏月暑氣烈シク寒温儀九十度ニ昇ル、有リ然レモ元來寒冷ノ地ニシテ八月ヨリ冬月ニ至テハ河水皆堅氷ヲ結ブ府内人口衆多ニシテ大凡二百五十萬ト云フ、或ハ百六七其數確定シ難シト雖モ英京、倫敦ニ次デ世界中ノ最モ人口多キ都會ト稱ス全部ノ形狀方正ニシテ稍南北ニ長ク繞ラスニ外郭ヲ以テ

ス其城壁ノ高サ三丈餘十三ノ樓門ヲ設ケ郭内又數重ノ城壁有リテ全都ヲ南北二大部ニ區分ス其北部ヲ内城ト名ケ南部ヲ外城ト稱ス内城ノ中央ニ帝居アリ邦人之ヲ皇城ト唱ヘ更ニ又二重ノ城壁ヲ匝ラシ四面ニ壯宏ナル宮門各一有リ前門ト唱ヘ南ニ向フ其中樓閣臺榭及ビ別殿椒房ノ美麗ニシテ衆多ナル枚舉スルニ暇アラズ峻宇彫梁都テ人工ノ精ヲ盡シ五彩眼ニ輝ケリ加之太液ノ池水ヲ引テ内庭ニ注ギ花木香草其間ニ繁殖スト云フ皇城ノ周圍ハ八大區ニ分テ八旗ノ色ヲ以テ之ニ配シ但シ各色旗下ノ兵士隊ヲ分テ住スルヲ以テナリ六部ノ官局及ビ許多ノ寺院堂塔試場等頗ル巨大ノ築造アリテ市街ト相錯雜ス又外城ハ内城ノ

南面ヲ包ミ專ラ四民ノ雜居スル所ニ屬ス郭内肆店駢列シ遠邇ノ商賈雲集ノ互ニ百貨ヲ販賣ス街衢概テ方正ニシテ直達シ極メテ長濶ナル者アリ其西門ヨリ東門ニ達スル大道ノ如キハ城内ヲ横截シ長サ一里半ニ過グ之ト相交リテ十字ヲ爲ス所ノ正陽大街亦最モ繁華ニシテ直ニ皇城ノ前門ニ通ス其道路ノ熱鬧車馬行人ノ絡繹トシ市店ノ雜沓ナルト他邦ニ比類無シト謂フベシ街道ノ屋宇ハ皆矮クシテ過半平屋ニ造ルト雖モ都人士ノ第宅亭園等雅趣風致アル者亦少ナカラズ但シ其外坊副街ニ至ッテハ家屋皆齷齪ニシテ貧民多ク道路ニ乞食ノ夥シキヲ亦他邦ニ曾テ見ザル所ナリ全都甚々廣濶ニシテ周回大凡八九

里アリ然^レ園地空隙ノ多キヲ以テ人家稠密ナラザル所多シ
 ○城西數里ニ許多ノ園圃別墅アリ昆明ト名クル湖水ニ臨ミ
 光景絶佳ナリ就中圓明苑ノ如キハ皇帝ノ離宮ニシテ寶庫ノ在
 ル所ナリシガ近年英佛ノ兵北京ニ逼リシキ之ヲ燒亡セリ
 南京ハ明代ノ舊都ニシテ北京ニ對スル一大都會ナリ揚子江
 ノ南岸ニ瀕シ其江口ヨリ九十四里ノ處ニ在リ北緯三十二度
 二分西經二十度五十一分ニ位ス外郭ノ高サ四丈周回七八里
 ニ達シ十二ノ城門ヲ備フ都下ノ人口一百万或ハ云フ現今ハ
 五十萬ニ過ギズト人家丘陵ニ彌リテ造營シ頗ル勝景ノ地タ
 リ蓋シ長髮賊ノ兵亂ヲ歴テ一旦衰微シ郭内三分ノ二ハ空地

トナルト雖モ貿易漸^ク繁盛ニ復シ華麗ノ屋宇寺院堂塔等多シ
 且^ツ文華風流ノ叢ニシテ學者文人等多クハ此地ニ住ス故ニ家
 屋亭園皆閑雅ニシテ街路清潔佳良ノ市店書庫書舖多シ又此
 地ハ紙墨陶器及^ヒ文房ノ器玩類ヲ製スル甚^ク精巧ニシテ花卉盆
 栽ノ培養ニ巧ミナル歐人モ亦常ニ之ヲ賞譽ス又府内及^ヒ近
 郊ニ大ナル絹帛磁器ノ製作場數多アリ○此地ニ有名ナル陶
 器ノ高塔ハ明^ノ永樂年間ニ建立セル所ニ係リ其高サ二十六
 丈一尺九層ニ累テ一層毎ニ華麗ノ室アリ頂上ニ登ル時ハ府
 内ヲ脚下ニ眺望シ景色甚^ク美ナリシト云フ乃^チ其製造外面全
 ク美麗ナル陶器ニシテ殊ニ此國ノ一奇觀ト稱セシガ近年長

髮賊ノ兵燹ニ罹リ全ク燒亡スル所トナレリ
 支那海岸ノ貿易場往昔ハ止廣東澳門ノミナリシカ近年ニ
 至リ歐米諸國ノ爲ニ開キタル海港都テ十四所日二月ニ繁盛
 ニ至レリ即上海ヲ以テ第一トシ漢口廣東福州之ニ次キ其他
 天津甯波芝罘汕頭廈門九江鎮江牛莊太沽登州是レナリ其
 貿易ノ總數每歲輸入ノ額一億二千餘萬圓輸出ノ額亦一億一
 千餘萬圓ニ下ラズ殊ニ英國ニ於テ東洋貿易ノ第一トスル所
 ニノ其運輸スル所甚夥シク他ノ諸國ヨリ出入スル所ノ總數
 ヨリモ大ナリ其貿易場ノ著名ナル者ヲ下ニ舉グ又陸路ヨリ
 易アリ賣買○出港品ハ茶蠶絲絹帛磁器漆器ヲ主トシ生姜
 城ニ於テス

大黃彫刻ノ諸品等之ニ次ク入港品ハ鴉片オピウム燕窠綿布麻布毛
 布鐵器玻璃器等ナリ

支那ノ產物茶ヲ以テ第一トス英船ノ輸出スル所每歲一
 億一千三四百萬斤其價平均五千五百六十萬圓ニ過ク斯
 茶量ノ大ナル固ヨリ國益ヲ爲ス甚多シト雖モ大畧之ヲ
 鴉片オピウムニ失フ歎ス可キノ甚シキナリ鴉片ハ印度ニ産シテ
 英船ノ每歲輸入スル所其數又甚夥シク輸入總額ノ半ニ
 幾シ近世ハ其禁ヲ廢止シ條約書千八百六十年ニ附録シテ公然
 之ヲ販賣ス其每歲輸入スル所大約四千八百四十餘萬圓
 ニ下ラス國民ノ沉溺スル者多キヲ知ル可シ用法ハ太キ

烟管ニ填メ燈火ニ附シ偃臥シテ其烟ヲ喫ス然ル時ハ精神恍惚トシテ眠ルガ如ク醉ルガ如ク其味忘ル可ラズ故ニ一度之ヲ嗜ム時ハ健康ニ害アルノミナラス貧困ニ陷

リ衣食ヲ缺ト雖モ終身之ヲ廢棄スル能ハズト云フ支那國民自ラ之ヲ好ミ政府モ亦之ヲ禁スル能ハズ故ニ英國ニ於テモ亦其毒ヲ知ルト雖モ之ヲ火酒ノ害ニ比シテ毒ノ有無ハ之ヲ用ルノ多少ニ因ルノミトシ又其商賈ノ嗜ム所セザルノ防ギ之ヲ禁スル能ハスト云フ我國民未タ陰雨戒心ス可キ所ナリ

上海シヤンハイハ南京ノ南七十餘里ニ在リ長崎ヨリ海路大凡揚子江口ヨリ支流ニ沿テ沂ル此地二十二年始メテ英國ノ爲ニ開キ

タル比ハ人烟甚々稀ナル村落ナリシカ近年ハ貿易頗ニ繁盛ニ

至リ人口五十萬ニ下ラズ支那貿易場ノ第一ニシテ大畧此地ノ出入他ノ十三港ノ總數ニ半ス又絹帛紙筆陶器家具百貨及食料等ヲ賣ル所ノ市店相接シ道路殊ニ雜沓ス又歐洲人ノ商館等ハ壯麗ニ清潔ナレト土人ノ家屋ハ皆矮ク街衢亦最も狹クシテ頗ル汚穢ナル處多シ故ニ夏月ハ殊ニ臭氣甚シクシテ人ノ健康ヲ害スル少カラズ近來ハ本邦ヨリ又諸方ニ溝渠ノ便有リ運河揚子江ニ通シ蘇州府人口百五十萬南京等ト水路ノ往來繁ク且内地ノ運輸貨物ノ出入甚盛ナリ初メテ此地ニ到ル者皆街衢ノ熱鬧舟楫ノ繁多及ヒ官人ノ金鼓ヲ鳴シテ往來シ婦人ノ足ノ織小ナル等見ル所盡ク土風ノ奇異ナルニ驚愕

ス可シ○天津テウジンハ北京ノ東南二十八里ペイキ白河ノ河口ニ倚リ流ニ沿テ沂ルコト十五里餘其南岸ニ在ル川港ナリ氣候ハ寒暑共ニ甚シク夏日ハ寒温儀百六度ニ達スルコト有リ冬月ハ河水常ニ堅氷ヲ結び三月ニ至リ消セス人口三十餘萬有リテ繁盛ナル都會ナレドモ市街概テ汚穢ナル所多シ此港ハ北京ノ鎖鑰ニシテ十年前ヨリ英國ト通商ノ爲メ之ヲ開キ次第ニ各國ノ商船輻輳スト雖モ貿易甚々盛大ナルニ至ラズ近年歐制ニ式リ堅固ノ炮臺ヲ建築シテ兵備ヲ嚴ニス但シ其大炮ハ皆英國ニ於テ製スル鍊鐵炮ヲ用フ○寧波ラウボハ上海ノ南浙江ノ海灣ニ在ル河港ニシテ河流ヲ溯ルコト五里人口三十八萬或ハ云フニ二十萬市街華麗ニシテ國人ノ富商此地ニ住スル者多シ皆船舶ヲ有

シ印度地方ニ貿易ス周圍堅固ノ外郭ヲ環ラシ寺院高塔等壯麗ナル者アリ又絹帛ノ製造盛ニシテ洋船ノ出入少ナカラズ氣候ハ冬月寒冷ニシテ池澤堅氷ヲ結ブニ至ル○廈門アモイハ福建ノ南岸ニ傍テ臺灣ホルモウノ對岸ニ在ル島ナリ周回十里都會ハ全ク島上ニアリ港口又別ニ小島アリ之ヲ擁蔽シテ碇泊ニ便ス香港ホンコンヲ距ル大凡百廿餘里土地清潔ナレモ瘠土ニシテ食料ノ蔬菜多クハ臺灣ニ仰グ人口二十七萬茶、砂糖、布帛、陶器等ノ製造多ク貿易盛ナリ皆支那人所屬ノ本國船ヲ以テ諸方ニ運輸ス其大ナル者八百噸ニ至ル大凡國人ノ豪商此地ニ住スル者多ク自ラ許多ノ船舶ヲ有シテ百貨ヲ四方ニ運輸シ印度及東

洋諸島ニ往來スル者アリ市街華麗ナラスト雖モ富豪ナル國人ノ巨屋夥ク邸第園地儘見ルベキ者アリ

廣州府又廣東ト稱ス珠江ニ瀕シテ其江口ノ北三十餘里ニ在リ氣候温暖ニシテ霜雪稀ナリ夏月ハ寒温儀大畧八十度ニ降ラス六七月ノ候或ハ九十度ヨリ百度ニ至ルコトアリ人口大凡百二十萬其中大畧四分ノ一ハ舟ヲ以テ家トシ水上ニ浮住ス都府ハ珠江ノ北岸ニ傍テ市街丘陵ニ連リ東ヨリ北ノ方ハ山峯兀出シ景色頗ル佳ナリ又城堡アリ内郭ハ東西ニ亘リ市街ヲ二部ニ分ツ其北部ヲ舊地トシ南部ヲ新地トス人家多クハ平屋ニシテ街衢六百ヲ以テ數フト云フ此兩部ヲ圍ミテ高峻

ナル外郭有リ大砲ヲ備ヘ十二ノ城門ヲ設ケ夜ハ之ヲ鎖シテ出入ヲ禁ス市中曠闊ノ遊覽場ニ乏シク人家ハ庭園等ノ隙地多ケレモ皆其主ニ屬シテ他人漫リニ入ルコトヲ得ズ又貧困ナル人家少カラズ冬月ハ屢々失火ノ虞アリ○市中溝渠多クシテ普ク舟楫ヲ通ス且皆石梁ヲ架シ其形狀屈曲シテ奇異ナル者アリ又佳麗ノ市店アリテ書籍等ヲ鬻グ多シ又寺院百二十箇學校十四所アリテ生徒常ニ羣集ス別ニ三十ノ小學ヲ設ク府内諸品ノ製造頗ル盛ナリ就中絹帛ヲ織ルガ如キハ常ニ工人一萬七千ヲ役使ス其他銅鐵彫刻ノ諸器品ヲ製ス街上繁華ニシテ殊ニ雜沓ヲ極ム○二十六年前迄ハ西洋商船ノ貿易支那

ニ於テ唯此府ノミトス故ニ當時貿易最モ繁盛ナリシガ鴉片
 ノ亂後別ニ四港ヲ開クニヨリ此地稍衰フト雖モ每歲輸出ス
 ル所猶二千萬圓ニ下ラズ○珠江又廣東河ト號ス居民常ニ水
 上ニ船居スル者頗ル多シ大小ノ船舶概數四萬ニ下ラズ大ナ
 ル者ハ十三間餘船内ヲ數室ニ別テ甚廣濶ナル者有リ各船皆
 儼然一家ヲ爲シ唯閩族奴婢ヲ栖息スルノミナラズ花卉樹竹
 ヨリ鶏犬豕羊ニ至ル迄一ノ備ハラザルナシ又往來スル處ハ小
 舟ヲ編列シテ道路ヲ爲シ傍ラニ百貨ヲ鬻グ店アリ現ニ一部
 ノ市街ヲ爲セリ此船居ノ人口幾ド三十萬水上ニ長シ終身陸
 地ヲ踏マズシテ死スル者幾萬ナルコトヲ知ラズト云フ此船居
 ノ風俗

支那ノ諸方ニ在リ○珠江ハ幅廣クシテ底深ク都府ノ前面ニ
 又後印度ニ盛ナリ於テ千噸ノ船ヲ泊ス可シ然レモ入津ノ洋船ハ下流六里ヲシテ
 アト云フ處ニ碇泊シ支那ノ小船ヲ以テ貨物ヲ運輸ス河流ノ
 中、島嶼多シ處々ニ炮臺ヲ築キテ守衛ヲ備フ河口ニ傍テ香港
 島及ヒ澳門ノ港有リ舟楫ノ往來繁ゲシ其間岸上岩石聳エ樹
 竹秀テ堂塔人家斷續隱見シテ景色殊ニ愛ス可シ此邊南宋ノ
 終リ幼帝入水ノ古戰場ナリ

香港ハ廣東ノ河口ニ在ル所ノ小島ニシテ長サ四里餘幅三里
 ニ滿タス廣州府ヲ距ル三十三里全島岩石多シ北岸ニ傍テ都
 會アリ維多利亞ト名ク人口四萬五千或ハ云フ十
 萬ニ過グト大畧支那人

ニシテ其四分ノ一ハ常ニ船居ス港内廣深ニシテ山嶺烈風ヲ防ギ
 地勢亞細亞洲中第一ノ碇泊場ト稱ス此地鴉片戦争ノ時ヨリ
 全ク英領ニ歸シ同國ヨリ總督ヲ置テ之ヲ管轄ス常ニ數多ノ
 軍艦ヲ繫キ支那海警衛ノ要地トス 長崎ヨリ海路大凡五百里餘 ○澳門ハ廣
 東ノ海岸ヨリ突出シタル半島ト相接スル島上ニ位シ廣東府
 ヲ距ル廿九里香港ノ對岸ニ在リ二百八十餘年前ヨリ葡萄
 牙人ノ居住スル所ニシテ終ニ同國ノ管轄ニ歸ス人口五萬二千
 アリ地勢大船ノ碇泊ニ便ナラズ近世ハ貿易漸ク衰へ更ニ繁盛
 ニ至ラス

支那海岸ノ屬島許多アリト雖モ其中大ナル者臺灣ホルモサ瓊州ハイナントス

臺灣ハ二百年前鄭成功ノ據守セシ處ニシテ福建ノ東南岸
 ニ在リ海峽ヲ隔ルコト四十餘里ニ過ギス其長サ九十八里幅三
 十餘里高峻ノ山脈南北ニ亘リ全島ヲ中分ス其西部ハ支那ニ
 屬シ東部ハ土人ノ酋長ニ屬シテ處々ニ村落ヲ成シ風俗甚ダ兇
 暴野鄙ナリ全島人口二百萬餘其中支那人五萬ニ過キズ氣候
 暖熱ニシテ草木繁茂シ果物穀類樟腦等ヲ産ス○瓊州ハ廣東
 ノ海角ヲ離ル、僅ニ七里東トシキ臺灣ニ在リ其幅員臺灣ヨリ差小
 ニシテ人口ハ一百万ニ過ギズ地勢峻峻ノ高山雪際ニ聳ユト雖モ
 海岸ハ氣候暖熱ニシテ肥沃ノ地多ク砂糖蜜蠟、眞珠、珊瑚
 等ヲ産出スル殊ニ盛ナリ又金鑛有リ内部ハ土人ニ屬シテ各

部落ヲ爲シ海岸ハ支那ノ居民海賊ヲ爲ス者多ク風俗甚惡シ
 支那ハ最モ舊國ニシテ印度、埃及及ヒ亞細亞西部ノ地方
 ト共ニ上古ヨリ人民繁殖シ夙ニ開化ニ進ミシ一其孰レカ
 先ナルヲ知ラズ堯舜ノ世今ヲ距ル四千餘年前ニ在リト
 雖モ既ニ他邦ニ先テ文物開ケ發明多キヲ見ル可シ之ヲ歐
 洲ノ年代ニ比較スルニ羅馬ノ建國ハ東周桓王ノ世ニ在
 リアレキサンドルデクレイト歷山王ノ盛衰ハ周末七國ノ時トス英佛諸國ノ如キハ
 當時尙野蠻猛獸ノ巢窟ニシテ未ダ邦國ヲ爲ニ至ラス其
 以テ東洋開化ノ矯矢タルヲ證スルニ足ル然レモ數千年間
 更ニ外國ト交通セス其偶境ヲ接シ或ハ遙ニ相往來スル

所ノ國ハ皆己レニ勝ル者無キヲ以テ終ニ自ラ尊大ニソ外
 交ヲ重ゼズ益々鎖國ノ風習ヲ爲セリ蓋シ北邊ニ境ヲ接ス
 ル國ハ今ノ蒙古、滿州、伊犁等ニノ概ソ之ヲ韃靼ト稱スト
 雖モ其古來支那ヲ侵掠セシモノ奕世種名ヲ異ニシ秦漢
 ノ世ニ於テ每ニ其北邊ニ寇セシハ匈奴ト號セリ匈奴ハ
 蒙古ノ野蠻ニシテ止支那ヲ侵セシノミナラス魯西亞ロシアヲ
 横行シテ深ク歐羅巴ニ侵入シ佛蘭西疆内ニマデ至リシ
 モノナリ又晋五胡ノ亂以來蒙古ノ種屬次第ニ城内ニ侵
 入シテ邦國ヲ建テ其大ナル者遼、金等ノ如キハ支那本部
 ノ大半ヲ蠶食スルニ至リ元朝ニ及テハ遂ニ全國ヲ併吞

シ且^ツ亞細亞州ノ大畧ヲ平定シテ其餘勢我^カ西邊ヲ侵セ
 リ匈奴及ヒ元ノ太祖ノ事今ノ清國モ亦韃靼ノ一部ニシ
 テ滿州ヨリ侵入シ二百年前明ヲ滅シテ蒙古地方ト共
 ニ支那全國ヲ領シ遷テ北京ニ都ス即^チ元清兩朝共ニ韃靼
 ノ種屬ニシテ支那ヲ平定シ終ニ之ニ君臨ス故ニ法令制
 度隨テ變革シ衣服風俗古ニ異ナル者有リ辮髮窄袖等ノ
 如キ即^チ是^レナリ然^レモ兩朝共ニ支那ヲ領スルノ後其風習
 ニ漸染シ隨テ外國ヲ蔑視シテ夷狄禽獸トス顧ハザルノ
 甚シキナリ都テ支那ノ國勢ハ印度ニ等シク屢^ニ鄰國ノ侵
 掠ヲ蒙リ終ニ其併吞スル所ト爲^レリ○清國近年ニ至リ

數^ニ英國ト戰爭シ每ニ敗績シテ國威ヲ減シ盟約ニ背キ外
 國ノ侮ヲ招ク少カラズ蓋^シ初度ノ戰ハ二十八年前ニ在リ
 從來支那ノ官吏私ヲ行ヒ英人ヲ蔑視シテ倨傲ノ處置多
 カリシガ林則徐廣東ヲ督スルニ及ヒ更ニ鴉片數千函ヲ
 燒盡シテ罅隙ヲ開キシニ因リ英國ヨリ軍艦ヲ發シ廣東
 ヲ陷^レ又天津ニ赴キ數所ノ城郭ヲ陷ル後遂ニ清國ヨリ
 和ヲ乞ヒ償金二千一百萬圓ヲ出シ香港ヲ割テ永ク英國
 ノ領地ニ歸シ更ニ五港ヲ開テ通商ノ地ト爲スヲ聽ス廣^{カシ}
 東廈門福州寧波上海是^レナリ其後十七年廣東ニ於テ支
 那雇奴ノ英船ニ在ル者ヲ支那ノ官吏恣ニ捕獲セシヨリ

遂ニ兵端ヲ開キ支那人英ノ商館ヲ燒キシカハ英ノ軍艦亦處々ノ炮臺ヲ毀テ廣州府ヲ燒夷フニ至ル是ニ於テ清國又許多ノ償金ヲ出シ改テ條約ヲ結ビ和ヲ講セリ然ルニ九年前千八百五十九更ニ改正シタル條約ヲ北京ニ於テ重修ノ爲ニ英ノ使節天津ニ到リシニ支那人欺テ之ヲ江中ニ進入セシメ不意ニ起テ襲撃セシニヨリ英人死スル者夥シク使節モ纒ニ身ヲ以テ脱スルニ至レリ此時佛國ノ使節モ亦共ニ此難ニ罹ルニ因リ其翌年英佛合同シテ二萬ノ兵ヲ發シ軍艦ヲ以テ直ニ天津ノ港ニ入り上陸シテ滿州ノ兵ト戰ヒ大ニ之ヲ敗リテ太沽タイグーノ炮臺ヲ陷レ遂ニ軍ヲ

進メテ北京ニ逼マリ屢々滿兵ヲ敗リ徑テニ京城ヲ陷レ圓明苑ヲ燒ク此時清帝已ニ滿州ニ遁逃シ其弟恭親王和ヲ英佛ニ乞テ一千二百萬弗ノ償金ヲ出シ前ニ開キタル五港ノ外更ニ牛莊ニウワン登州タンシュウ以下ノ九港ヲ開クニ至レリ其他近世内國ノ形勢ハ諸處ニ盜賊蜂起シ常ニ平穩ノ年少ナク其最大ナル者ヲ長髮賊ト稱シ二十年前ヨリ江南ヲ煽動シ其勢猖獗ニシテ自ラ王號ヲ稱スル賊魁多ク終ニ南京ヲ陷レ太平王ト稱スル者此ニ割據シ近隣ヲ奪掠ノ其凶燄コンガン密波ミツハ上海ノ邊ニ及ボシ十餘年ヲ經テ平グルヲ能ハザリシガ英米ノ士官支那政府ノ兵ニ力ヲ戮セ終ニ之ヲ

鎮壓スルニ至レリ輓近又雲南ノ地大ニ動搖シ居民兵ヲ
舉テ獨立ヲ圖リシガ久シカラズ鎮定ス此國ノ歴史ハ
所ニ其書頗ル世ニ多キガ故ニ之ヲ畧ス

○支那韃靼

元來韃靼ト名クル地方ハ支那西藏及印度ノ北シベリ
亞ノ南東ハ日本海ヨリ西裏海ニ達スル亞細亞中央ノ總
稱ニシテ東西大約一千五百里ニ連亘ス其中蒙古滿州朝
鮮伊犁土耳其斯坦等ノ區別有リ但土耳其斯坦ハ東西
兩部ニ分レ其西部ハ獨立韃靼ト稱シ古來支那ニ屬セズ
東部ハ天山南路ト名ケ久シク支那ニ屬セシガ近來獨立

ノ其管轄ヲ脫ス故ニ其他ハ皆支那韃靼ト號シ支那ノ版
圖ニ屬スルモノ幅員合セテ二十七萬一千二百方里人口
大凡千五百萬有リ地勢概テ高原ニ屬シ北方ハ阿爾泰ノ
連山駢列シテ魯西亞ノ國界ヲ爲シ南ハ崑崙ノ山脈西藏
ノ境界ヲ隔テ中間西ヨリ天山ノ群峯連綿内地ニ亘ル然
レ域内曠漠ノ平原多ク間膏腴ノ地有リト雖モ所謂戈壁
又ト名ク即チ沙漠ノ國ノ大沙漠有リテ東西五百餘
里ニ跨リ南北二百里ヨリ二百七十八里ニ達ス其地平坦
ニシテ渺茫海ノ如ク更ニ山嶺樹木ヲ見ズ周歲雨降ル事稀
ニシテ殊ニ開墾ヲ爲ス能ハズ又渚澤鹹湖處々ニアリ各地

皆部落ヲ分チ都邑村落ニ住スル居民アリ又水草ヲ逐テ
 轉居スル野民多ク各主領アリテ之ヲ管轄ス其大ナル
 者ハ藩王ト稱シ北京ニ參朝ス蓋シ土地ノ廣大ナルニ比
 スレバ人口甚ダ寂寞ニシ沙漠ノ如キハ殊ニ無人ノ郷ト
 稱スベシ域内ノ土人專ラ佛教ヲ尊崇ス但シ元代ヨリ始ル
 其他各部ノ野民淺陋ナル異教ヲ奉ズル者有リ韃靼ノ名
ヲ指ス耳其斯坦ノ地方

滿州ハ支那ノ東部ニシテ日本ノ對岸ニ在リ地勢ハ山脈多ク
 沿岸肥沃ノ地亦少ナカラズ河流ハ黑龍江アムル殊ニ著名ノ大河ニ
 シテ其下流ハ混同江ト稱シニコライズク尼哥拉斯科ノ海峽ニ注ク即チ清

朝ノ本國ニシテ舊來全ク其版圖ニ屬セシガ漸々魯西亞ノ蠻
 食ヲ被リ又十年前ヨリ黑龍江ノ南海岸ノ地方朝鮮ニ近キ處
 マテ皆魯西亞ノ版圖ニ歸ス故ニ支那ニ屬スル處大畧其半ニ
 過ギス○首府ヲ奉天府チヂント號シ人口二十萬アリ即チ清朝ノ舊
 都ニシテ盛京ト名ケ域内ニ京ノ一ナリ清帝ノ支族ヲ封シテ王ト
 シ官人皆滿州人ヲ用ヒ國內ノ政務軍事等ヲ管轄セシム言
 語文字皆支那本部ト異リ此地又遼東ノ首府ニシテ北京ノ東
 北百五十六里ニ在リ周圍堅固ノ壁壘ヲ回ラシ其中又數重ノ
 城郭ヲ設ケ清帝ノ離宮及ヒ王族ノ居館等アリ郭外ノ市街ハ
 殊ニ繁盛ナリ但シ清帝ノ祖先數代都セシ所ニシテ奕世ノ宗廟

皆此地ニ在リ十年前英佛ノ兵北京ニ逼リタル時清帝遁逃シ
久シク此府ニ駐マレリ○吉林ハ滿州南部ノ首府ニ
シテ又清帝ノ支族ヲ封シテ王トス陸軍屯兵ノ本營有リ

高麗又朝鮮ト名ク滿州遼東ニ接シテ海中ニ突出シタル半島
ヲ云フ長サ大凡二百里幅六十餘里ニ出入ス其海角對馬ヲ距
ル纔ニ十一里餘ニ過キズ地勢山脈多ク肥田沃野アリ人參ヲ
以テ產物ノ第一トス其他良材穀物烟草絹帛ヲ産ス○風俗及
ビ技藝等大畧支那本部ニ同シク且文學ヲ好ミ漢文ヲ講習ス
ル者多シ又本土固有ノ文字アリ○國主ハ王號ヲ稱シ古來支
那ニ朝貢シ其正朔ヲ奉ズ然ルニ今世ハ只屬國ノ名ノミニシ

更ニ相往來セスト云フ城内ヲ八道ニ分チ王城ノ在ル所ヲ京
畿道ト稱ス又平海府ハ東岸ニ在リ其他海港及都會ノ地處々
ニ在リト雖モ皆大ナル者アラズ總テ市街家屋ノ製作日用ノ
器械等ニ至ル迄畧支那ト同クシテ更ニ粗惡ナリ衣服ハ支那
ノ古制ヲ用ヒテ辮髮ヲ垂レズ人種モ亦固ヨリ同種ナレドモ
身体稍長大ニシテ性質殊ニ遲鈍ナリ國俗最モ迂遠ニシ固ク
國ヲ鎖閉シ外人ヲ蔑視シテ更ニ開化ニ向フヲ欲セズ○此國
上古土人ノ自ラ邦土ヲ拓キシハ其年代ヲ詳ニスル能ハズ支
那ノ封ヲ奉ケ國ヲ建ル者箕子ヲ以テ始トシ是ニ於テ朝鮮ノ
號有リ其後國內亂レ衛滿ト云フ者之ヲ平定シテ君位ニ登リ

其子孫ニ至リ邦土分裂シテ三トナル故ニ當時三韓ノ稱アリ
其後新羅ノ一部ニ韓ヲ滅シテ國內ヲ一統シ後又高麗ノ王氏
之ヲ亡シテ代立ス故ニ高麗ト號ス其他奕世尙數次ノ沿革
有リ之ヲ畧ス○此國古代ヨリ皇國ニ朝貢シ百工ノ技術等ヲ
傳ヘシコ少カラズ又屢我ヨリ之ヲ征討セシコ有リ千六百
七十年前神功皇后ノ親征及ビ近クハ豐太閣ノ討伐ノ如キハ
皆人ノ能ク知ル所ナリ

蒙古 ハ北西比利亞ニ接シ南支那本部ニ界シ東滿州ヨリ西伊犁ニ跨リ廣大ナル高原ノ地ニシテ其中戈壁ノ大沙漠東西ニ蔓延シ土地ヲ二部ニ別ツ其長城以外沙漠ニ至ル迄ヲ內蒙古

ト稱シ沙漠ト阿爾泰山脈ノ中間ニ在ル者ヲ外蒙古ト稱ス地
勢平坦ニシテ更ニ山脈無ク氣候寒冷ニシテ耕作スベキノ地少シ
域内大小數多ノ部落ニ分チ又八旗ノ色ヲ以テ區分ス各藩王有リテ之ヲ
領ス又汗ト稱ス都テ外蒙古ノ土人ハ許多ノ區別アレモ喀爾喀人
ト名クル種類衆多ニシテ多クハ水艸ヲ逐テ轉徙シ氈帳ニ栖息
シテ馬肉ヲ食ヒ鮮酪ヲ飲ミ勇悍ニシテ騎馬ヲ好ム此類ノ野
民或ハ本府ニ貢ヲ納レ或ハ然ラザル有リ又都邑村落ニ住ス
ル者ハ藩王及ビ支那鎮臺ノ管轄ニ歸ス皆滿州ノ土人ノ如ク
古來辮髮ヲ蓄フ國內處々ニ支那ノ戍兵ヲ置ク所アリ○多倫
諾爾ハ滿州ニ近ク內蒙古中ノ最モ人口多キ都邑トス土人支

那人等雜居ス市店佛堂許多アリ又魯西亞内地ト貿易繁盛ニシテ絹布銅鉄ノ製造品多ク又佛像佛具ヲ造ル夥シク内地諸府ニ輸出ス○喀喇庫爾ハ往時成吉思汗ノ都セシ處ニシテ外蒙古ノ中央ニ在リ今ハ荒廢ノ小邑ニノ往昔ノ建築物等存スル者稀ナリ○買賣城ハ西比利亞國界ノ山中ニ在リ甲他ト相距ル纔ニ十町ニ過ギス都テ支那ト魯西亞ノ貿易ハ盡ク此地ニ於テス皆隊商ヲ用ヒテ北京ヨリ遠ク沙漠ヲ渡リ魯西亞人ハ又莫斯科ヨリ全シク陸路ヲ運輸ス支那ヨリ輸出スル所ハ茶ヲ第一トシ大黃之ニ次グ輸入ハ綿布毛布皮革等ナリ此地ノ居民大半男子ニシテ女子極メテ少ナシ○カハルガハ前兩邑ノ間ニ在リ又カハルヒト稱フ喀爾喀地方第一ノ都會ニシテ人口七千鎮臺及ヒ高僧ノ居宅アリ府中寺院及ヒ大ナル佛教ノ學校アリ隊商ノ北京ヨリ買賣城ニ達スル必ズ此處ヲ經過ス

蒙古人ハ上古ヨリ遊牧ノ野民ニシテ其始ヲ詳ニセズト雖モ二千餘年前已ニ亞細亞洲ノ内地ニ轉住シ匈奴名ヲヒト名ケテ隣邦ヲ侵掠シ屢支那ノ北邊ヲ侵セシテ秦漢ノ世數ルニ暇アラズ其後又深ク歐羅巴ニ侵入セシト有リ蓋シ今ヲ距ル千五百年前匈奴ノ兵西ノ方裏海ノ邊ヨリ次第ニ魯西亞ノ内地ニ侵入シ到ル處抄掠ヲ爲シ羅馬ノ

領内ニ寇シテ多惱河ノ近傍盡ク其燒夷スル所トナル此
 時匈奴ノ頭領ヲアッテ汗ト名ク暴戾殘忍ニシテ殺戮ヲ
 恣ニシ過ル處盡ク人家ヲ焚燒シ財貨子女ヲ掠奪シテ予
 遺無キニ至リ遂ニ西進シテ日耳曼及ヒ比耳時ニ入り其
 抄掠スル所數ヲ知ラズ復テ佛蘭西ニ寇ス是ニ於テ羅
 馬ノ兵佛國ノ土兵トカヲ合セ大ニ捨爾尼佛國東ニ會戰
北ノ地ニ會戰
 シ兩軍殺傷夥シク鏖戰數刻ニシテ匈奴ノ軍破レ戰死ス
 ル者三十萬餘衆咸ク伊太利ノ地方ニ退ク會アッテ汗
 路ニシテ歿シ部下潰散シテ終ニ歐洲ヲ驅却セラレシ者
 ナリ又後世ニ至リ蒙古ノ種屬次第ニ跋扈シテ支那ヲ侵

シ國ヲ建ル者枚擧スルニ暇アラズ其晋唐以來遼金等ノ
 如キ殆ド支那ノ大半ヲ蠶食シ元及清ニ至テ全國皆其平
 定スル所トナル○都テ蒙古ハ古來野蠻タルヲ免レズト
 雖モ蓋世ノ英雄踵ヲ接シテ起リ絶大ノ版圖ヲ拓キ將ニ
 世界ヲ統一セントスルノ勢有リシト管ニ一世ニ止マラ
 ズ今ヨリ六百餘年ニ於テハ元ノ太祖起リ亞細亞ノ過半
 ヲ畧定シ其嗣子ニ至テ益ク版圖ヲ拓キ其盛ナルニ方テハ
 支那本部ヲ舉テ韃靼ノ全部ヲ包ミ日耳曼波蘭ニ界シテ
 魯西亞ノ大半ヲ併吞シ亞拉比亞、印度、小亞細亞ヲ除クノ
 外ハ概畧亞細亞洲ノ大陸ヲ統轄スルニ至ル幾クナラズ

シテ此封域分裂スト雖モ五百年前其裔帖木兒復土耳其
 斯坦ヨリ起リ亞細亞ノ大半ヲ平定シテ歐羅巴及亞非利
 加ヲ震動セシメ再ヒ世界ヲ并吞セント欲スルノ勢ニ至
 リシガ半途ニシテ歿シ邦土又分裂セリ然レ其親屬又起
 ル者有テ印度ヲ平定シテ莫臥爾國ヲ建テ之ヲ後世ニ傳
 フ○今ノ清朝モ亦蒙古種ニシテ二百年前ヨリ支那全
 國ヲ平定シ今日ノ形勢ニ及ベリ古來支那印度等ヨリ北
 征シテ蒙古ヲ領セシ者無シト雖モ蒙古ノ種屬皆兇暴ノ
 威カヲ以テ支那及ビ印度ヲ奪ヒ奕世王業ヲ傳フル者少
 カラズ蓋シ地勢風土ノ然ラシムルニ因ルモノカ○元ノ

太祖初メ鐵木眞ト名ク七百十三年前列イルン、エルダツ
 内蒙古ニ生ル其父ヲ也速該ト云フ蒙古部落ノ酋長ニシ
 テ常ニ黑龍江及ビ支那長城ノ間ニ遊牧シ或ハ金ニ朝貢
 セリ鐵木眞幼ニシテ大志有リ其父歿スルノ時歲甫テ十
 三自ラ酋長トナリテ部下ヲ統御ス然レ其年齒少ナルガ
 故ニ衆皆之レニ信從セズ遂ニ兵ヲ構スルニ至ル鐵木眞遁
 テ喀喇庫爾ノ酋長ニ寄ル酋長、女ヲ以テ之レニ妻シ其部下
 ノ兵ヲ指揮セシム既ニシテ酋長竊ニ鐵木眞ノ才力比無
 クシテ漸々威權ヲ得ルヲ妬ミ終ニ之ヲ害センコトヲ計ル
 鐵木眞遁テ郷土ニ歸リ兵ヲ舉ゲテ喀喇庫爾ニ侵入シ一

戰シテ之ヲ破ル是ニ於テ蒙古ノ諸部鐵木眞ノ勢力將ニ盛大ニ至ントスルヲ懼レ各部ノ酋長盡ク合從シテ之ヲ亡サントス鐵木眞之ヲ黑龍江畔ニ邀ヘ寡ヲ以テ衆ニ敵シ遂ニ鏖戰シテ盡ク合從ノ兵ヲ破リ衆汗皆服從シテ長城以外蒙古全部大半之ニ屬ス是ニ於テ六百五十二年前千二百部下ノ衆汗ヲ盡ク幹難河畔ニ會シ黑龍江ノ大ニ盟約ヲ爲シ全世界ヲ一統センヲ期シ乃チ即位ノ禮ヲ行フ部下尊號ヲ上リ成吉思汗ト號ス衆汗ノ汗終ニ金ノ使ヲ郤ケ次第ニ其領地ヲ蠶食シ長城ヲ越エ北京ヲ陷ル此時韃靼西部ノ亂ル、ヲ聞キ支那ノ軍事ヲ其部下ノ將帥

ニ委テ自ラ大兵ヲ將井テ土耳其斯坦ニ向ヒ諸邦ヲ蠶食シ遂ニ也ニ尼塞河ニ源ニ於テ大戰シ破竹ノ勢ヲ以テカリスム今ノ西土耳其斯坦ノ國界ナルカイホニ河ノ濱ニ至ルカリスムハ當時韃靼西部ノ大國ニシテ天山ノ内外ヨリ大畧土耳其斯坦ノ全部及ヒ比耳西亞ノ北部ヲ合セテ之ヲ領セル者ナリ乃チ蒙古ノ兵ノ至ルヲ聞キ大軍ヲ以テ之ヲ逆フ成吉斯汗其長子シム赤ニ命シ騎兵七十萬ニ將トシテ之レト會戰シ數刻ニシテ之レヲ破リ沙ハ曠ニ良ニ布ニ加利ニ等ヲ陷レ土耳其斯坦全國ヲ平定ス又部下ノ大兵ヲ三分シ各將帥ニ命シ諸方ニ進發セシム數年ヲ出ズシテ比耳西

亞ヲ平定シ高加索地方ヲ并セ遂ニ魯西亞ニ侵入シ内地ニ横行シテ當ル者ナク過ル所其抄掠ヲ恣ニセリ己ニシテ成吉思汗蒙古ニ歸リ喀喇庫爾ニ都城ヲ定ム又西征ノ間支那地方ニ於テハ將帥勝ニ乘ジ己ニ金ヲ亡シ次第ニ本部ニ侵入セリ成吉思汗齡己ニ七旬ニ垂ケレドモ世界ヲ平定セント欲スルノ念益壯ニシテ自ラ大兵ヲ將井テ沙漠ヲ涉リ支那ノ西北ヲ平ケ途ニシテ病ニ罹リ六盤山ノ下ニ歿ス成吉思汗始メ兵ヲ起シテヨリ列國ヲ平定セシマテ其生前軍事ニ人命ヲ殺害セルコト甚タ夥多ニシテ其算計大畧五百萬以上ニ及ブト云フ○成吉思汗妻妾五

百餘人ヲ有ス故ニ子女甚多シ其中三人ヲ擇ミ巨大ノ版圖ヲ分チ之ヲ封ス長子ヲ求赤ト名ク土耳其斯坦ノ北ヨリ西方ヲ附與シ裏海ヨリ北氷海ニ達ス第二子ヲ察合台ト名ク土耳其斯坦全國ニ封シ第三子ヲ窩闊台ト名ク其封土蒙古全部ヨリ黑龍江ニ達ス○太祖歿スルノ後窩闊台位ニ即キ太宗ト號ス之ニ嗣テ定宗憲宗皆在位久シカラズシテ歿シ太祖ノ第四子拖雷ノ子忽必烈汗位ニ即ク之ヲ世祖ト號ス終ニ宋ヲ亡シ支那本部ヲ平定シ又兼テ蒙古ノ大汗ノ位ニ登ル故ニ其版圖南ハ支那本部ヨリ印度ノ北部ニ跨リ北ハ西比利亞ヲ合セテ北氷海ニ達シ東

ハ朝鮮滿州ヨリ西ノ方魯西亞ノ内地ニ亘リ亞細亞ノ大
 畧ヲ統轄セリ如此廣大ノ版圖ハ古今未嘗テ有ラザル所
 ノ者ナリ世祖又大ニ舟師ヲ發シ我西陲ヲ侵スト雖モ大
 風ノ爲ニ盡ク覆沒セシ一五百年前弘安ニ在リ來古
 豪傑ノ興亡屈指スルニ暇ナシト雖モ一世ニシテ絶大ノ
 版圖ヲ拓キ世界ヲ震動セシメテ各國ノ歴史ニ關係セル
 者ヲ數フルハハ歴山王該撒成吉思汗帖木兒拿破崙等ヲ
 最トス故ニ此ニ成吉思汗ノ略傳ヲ附ス帖木兒モ亦元ノ
 種屬ナリト雖モ沙曠良ニ都スルニ
 因リ土耳其斯坦ノ條下ニ附ス

伊犁 ハ蒙古ノ西端ニ連リ南ハ崑崙山脉ヲ限リ北ハ西比利亞

ニ界セル土地ノ總稱ナリ天山ノ群峯西界ヨリ東邊ニ連亘シ
 疆域ヲニツニ分ツ其北部ヲズンガリヤ又新疆ト號シトモ北路

南部ヲ支那土耳其斯坦又回疆ト稱ス又天山南路ト號ス但シ南部ハ近

來獨立シテ東土耳其斯坦ト號シ復テ支那ニ隸屬セズ土耳其斯坦ノ條下

ニ記故ニ今此ニ專ラ北部ノミヲ附記ス域内許多ノ部落ヲ分

テ各酋長有リテ支那ニ伏屬ス又水草ヲ逐テ轉居スル野民ア

リ僻遠ニシテ更ニ都會ト名クベキ處少シ只首府伊犁一名列

口八萬有リテ西方貿易ノ要地タリ其他塔爾巴哈台及比布古

爾等ノ邑間有リ域内支那ヨリ置ク所ノ鎮臺アリテ諸部ニ戍

卒ヲ遣リテ之ヲ管轄セシム

○西藏

西藏ハ北ノ方崑崙ヲ隔テ東土耳其斯坦ニ界シ南ヨリ西ハ喜

馬拉山脈ニ接シテ印度ニ隣シ東ハヒマラヤ山脈ヲ以テ支那本部ニ界ス其幅員十萬九千四百方里餘大凡支那本部ノ二分一ニ匹敵シ人口ハ一千零二萬許ニ過ギス壤地ヲ前藏後藏ノ兩部ニ區別ス地勢峻峻ニ高山四周ニ屏列シ亞細亞中央高原ノ南部ニ位シ地球上最モ高峻ノ邦國ニ平原ト雖モ海面ヨリ高キヲ一千丈ヨリ一千四百丈ニ至ル大畧富士山ノ其頂上ニ等シ其間山嶽突兀シ峯頭ハ概テ平原ヨリ高キ事又一千丈ニ過グ域内處々湖水多シヨ、ノルバルチ騰噶里等殊ニ著名ナリ○此國亞細亞洲中ノ最モ佛教盛ニ僧徒多キ地トス故ニ蒙古ノ人民此ヲ靈地トシテ隔遠ノ地方ヨリ來リ順拜スル者常ニ多シ

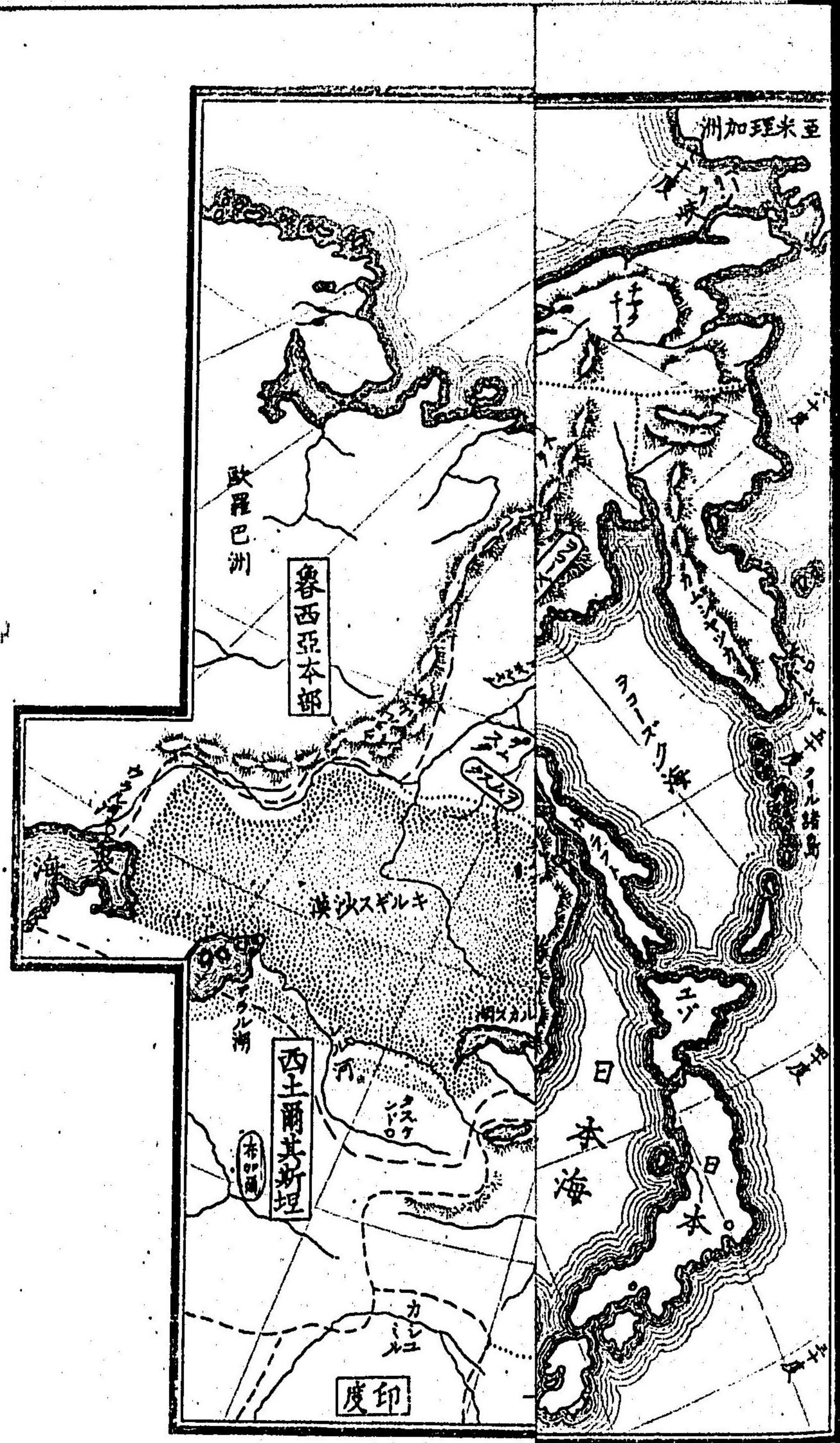
國內ノ人口大半僧侶ニシテ寺院堂宇甚多ク其大ナルニ至テハ三千或ハ四千ノ僧侶羣居スル者有リ○國體ハ大ニ他邦ト異ニノ法王有リ達賴喇嘛ト號シ域内ニ君臨ス之ヲ彌陀ノ示現セル活佛ナリトシテ人民ノ尊崇スル甚々嚴ナリ此法王ニ亞テ尙ホ數名ノ貴重ナル高僧アリ其外ニ出ル時ハ市井ノ老弱皆地ニ伏シテ敬禮ヲ施ス若シ之ヲ拜セザル者アレバ嚴刑ニ處セラル又女僧頗ル夥シ○此國六百六十餘年前成吉斯汗ノ侵畧ヲ蒙リテヨリ漸ク支那ニ服屬シ百四十餘年前ヨリ更ニ其管轄ヲ受ク但シ支那ヨリ大惣督ヲ置キ處々ニ戍卒ヲ屯シテ之ヲ警衛ス其政令ハ大總督ト法王ノ宰相四名ト相議シテ之ヲ施

行スト雖モ皆法王ノ許可ヲ經ルヲ要ス且ツ每歲高貴ノ官員ヲ遣リ支那ニ朝シ貢ヲ納ル國內都邑ニ住スル人民ハ禮讓ニ厚ク文學ヲ研窮スル者多ク星學曆法ノ如キ此國自ラ發明アリ殊ニ佛教ヲ講習スルノ生徒最モ夥シ○地勢自ラ高地ニ在ルヲ以テ氣候其緯度ニ比スレバ甚寒冷ナリ域内樹木極テ少ク北部ハ殊ニ耕種スベキ處無シ但シ東南ノ地ハ纔ニ米穀ヲ産ス且ツ四隣ノ高山周歲雪ヲ戴キ寒風烈シキガ故ニ居民皆羊皮ヲ着ス其中都府ニ在ル者ハ又毛布ヲ着スルアリ產物ハ黃金ヲ出ス殊ニ夥シク銀鍍水銀及ビ許多ノ寶石ヲ出ス又處々ノ都邑ニ於テ精巧ナル金銀香木ノ製造品ヲ鬻ク多クハ佛像佛具等ナリ街坊ハ土

人及ビ支那人韃靼人印度人等雜居シ支那及ビ近隣ノ諸邦ト貿易頗ル盛ナリ市店販賣ノ事務ハ皆婦人ヲ役使シテ之ヲ掌ラシム又此國一般ニ奇異ノ陋習アリ兄弟數人ニテ一婦ヲ娶リ共ニ之ヲ妻トスルヲ常トス○國內石炭ニ乏シク且ツ樹木稀ナルヲ以テ製造及ビ寒氣ヲ禦グニ不便ナルヲ殊ニ甚シ木材ハ專ラ印度ヨリ輸入ス○内地及ビ西北邊郷ノ土人ハ皆遊牧ノ野民ニシテ廣野ニ轉居シ自ラ部落ヲ爲シテ更ニ他ノ管轄ニ歸セザル者有リ又西隅ヲダグノ地方ハ今印度ノ克什米爾ニ隸屬ス○京城ヲ拉薩ト名ク前藏中ノ一都會ニシテ人口二萬四千或ハ云五萬法王ノ宮殿及ビ支那ヨリ置ク所ノ大總督ノ衙府

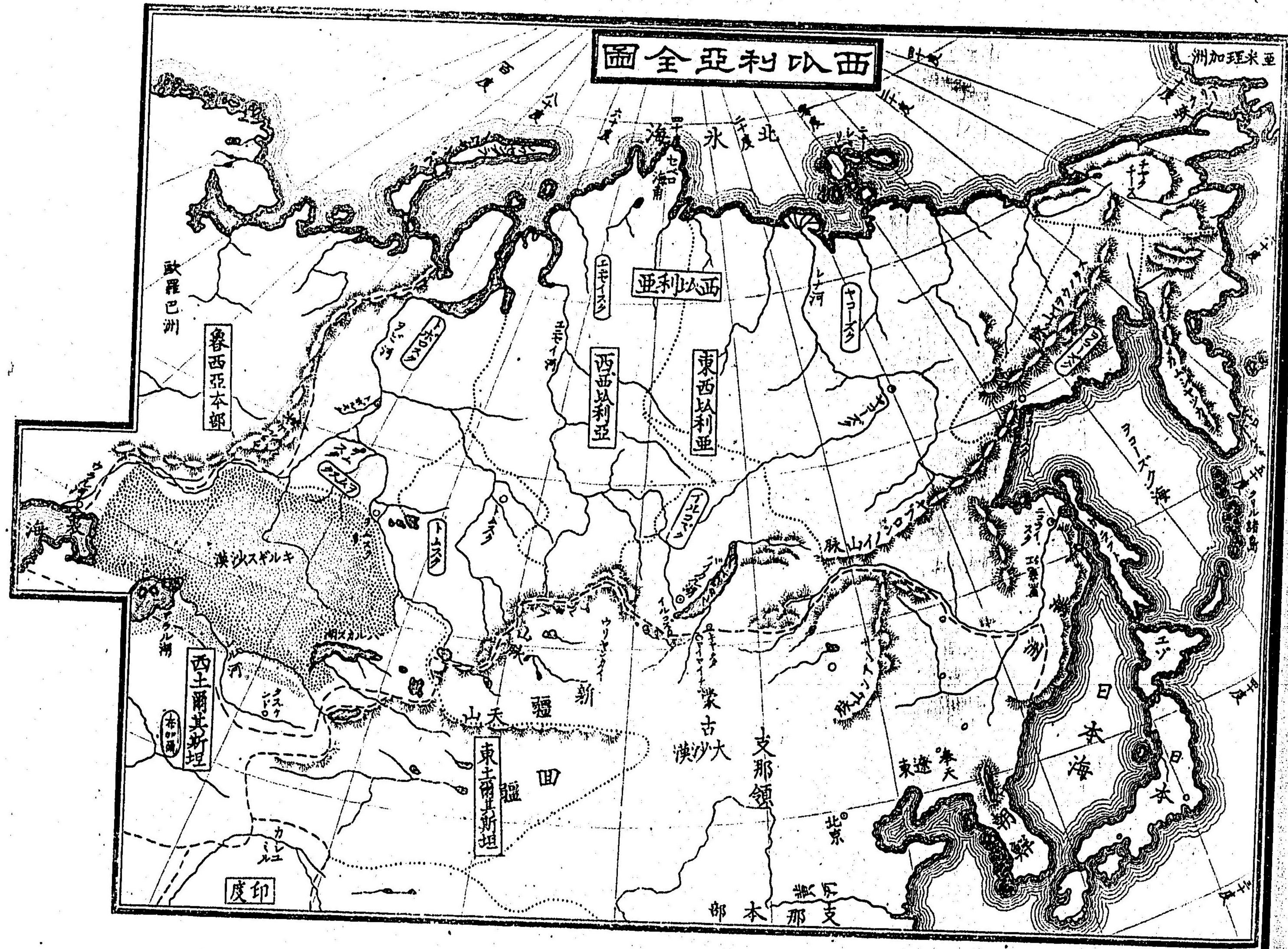
アリ人家石ヲ以テ造リ市街道路甚清潔ニシテ製作場多ク質
 易頗ル繁盛ナリ又壯麗ナル寺院堂塔及ヒ廣大ナル彌陀堂ア
 リテ其中無數ノ佛像、金銀、寶玉ヲ充滿ス法王ノ宮殿ノ如キ即チ
 巨大ノ一寺院ニシテ結構壯觀華美ヲ極メ無數ノ佛堂高塔林立
 シテ内外ニ羅列ス皆金銀珠玉ヲ鑲バメ炯々トシテ人目ヲ眩
 惑ス大凡世界中此ノ如ク財寶ヲ佛寺僧侶ニ擲チ冥福ヲ祈ル
 者多キヲ見ズ故ニ法王ノ宮殿ヨリ諸方ノ寺院ニ至ルマテ其
 中皆莫大ノ金銀寶玉ヲ充實セリ其他シガグンガル及ビチガッ
 ジノ兩所共ニ人口十萬許ノ都會ナリ又テシユロム、ブレハ後藏中
 ノ首府ニシテ人口二萬餘第二ノ法王ノ居住スル處ナリ都テ各

部ノ都邑皆高僧ノ宮殿及ビ寺院堂塔甚多シ或ハ山林湖水ノ
 中ニ堂宇アリテ數多ノ女僧ヲ住セシム

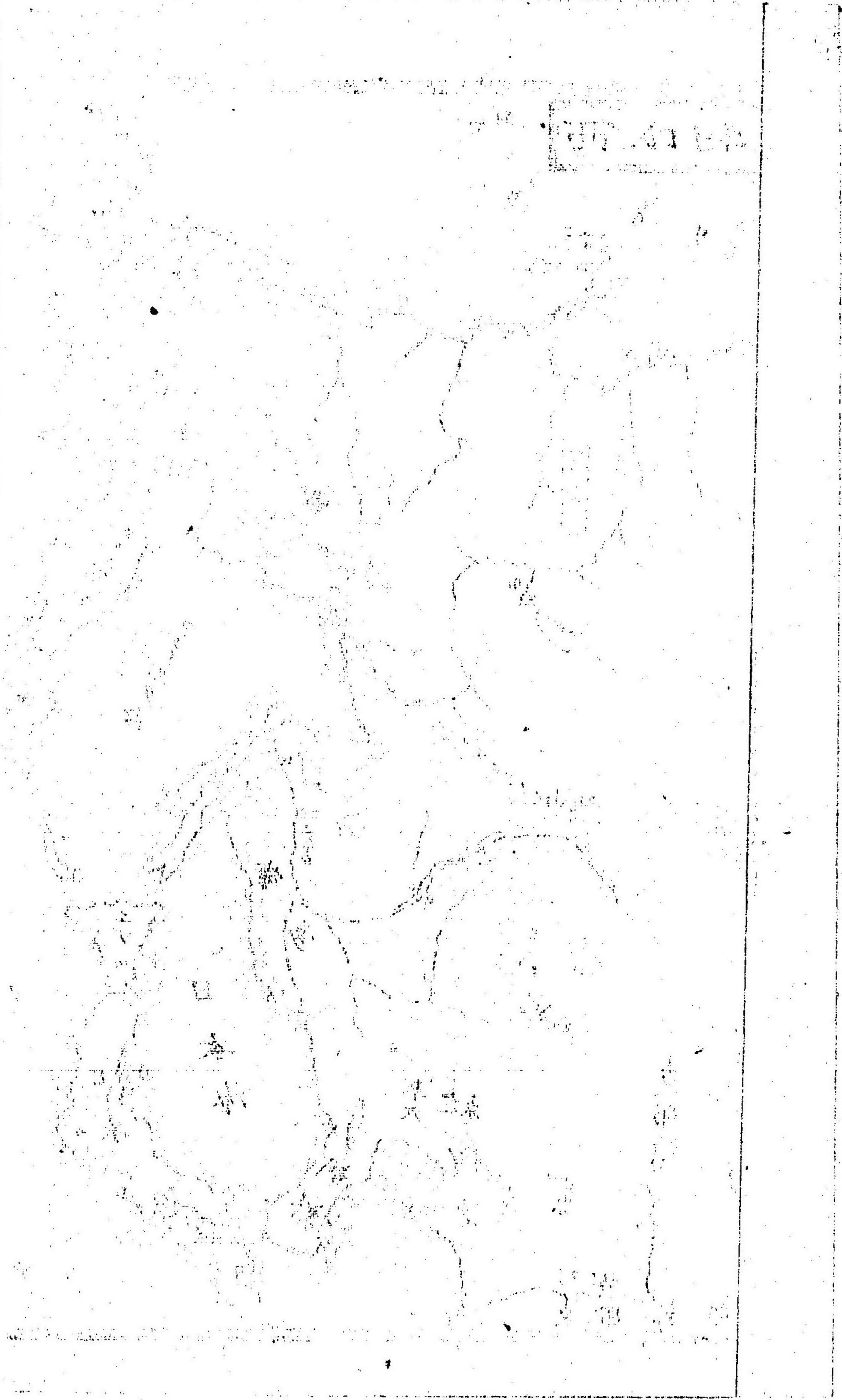


西伯利亞魯西亞領

亞細亞洲北部ノ總稱ニシテ盡ク魯西亞ノ版圖ニ屬ス其境域
 西ハ烏拉山脈ヲ限リテ歐羅巴ノ魯西亞本部ニ連リ北ハ氷海
 ニ瀕シ南ハ裏海ノ邊ヨリ土耳其斯坦蒙古ニ界シ東南ハ滿州
 ノ海岸ヲ合セテ日本海ニ濱シ東ノ方堪察加半島ヨリ古利爾
 諸島ニ跨リ墨領峽ヲ隔テ亞米理加洲ニ對ス其長サ東西一千
 四百七十餘里南北七百三十餘里幅員九十三萬七千八百方里
 ニ過ノ故ニ歐羅巴全州ヨリ大ナル殆ト一倍半有リ然レ人口
 ハ域内ヲ併セテ纔ニ五百五十萬其中魯西亞人ハ三分ノ二ニ
 過ギズ或ハ四百萬ト云フ皆大約ノ算計ニシテ野蠻其土地ノ



ノ海岸ヲ合セテ日本海ニ濱シ東ノ方堪察加半島ヨリ古利爾
 諸島ニ跨リ墨領峽ヲ隔テ亞米理加洲ニ對ス其長サ東西一千
 四百七十餘里南北七百三十餘里幅員九十三萬七千八百方里
 ニ過ノ故ニ歐羅巴全州ヨリ大ナル殆一倍半有リ然レ人口
 ハ域内ヲ併セテ纔ニ五百五十萬其中魯西亞人ハ三分ノ二ニ
 過ギズ或ハ四百萬ト云フ皆大約ノ算計ニシテ野蠻其土地ノ



廣大ナルニ比スレバ人口甚尠ク之ヲ全國ニ平均スルキハ一方里内ニ五人半ヲ充ルニ幾シ土人ハ皆蒙古種ニ屬ス然レ其

風俗言語狀貌等地方ニ從ヒ各同シカラズノ乃數種ニ區別ス
 北部ノ土人ハ概テ野モイ区ト名ケ殊ニ勒拿河ト烏拉山脈ノ
 間ニ多シ此人種ハ城內固有ノ土人ト覺シク言語ハ芬蘭人ニ
 類ス最モ蠢愚ノ野蠻ナリ又東部ノ土人ハ下ングト名ケ
 辨髮ニシテ甚々滿州人ニ似タリ又貝加爾湖ノ近傍ハアリヤツ
 ト名クル土人ニ最モ内地ニ多シ其他ヨ多クハ漁獵ヲ業ト
 カシヒ人カムサツ辺人等數多ノ區別有リ
 シ或ハ水草ヲ逐テ遊牧ヲ爲ス者有リ又許多ノ快鹿ニ鹿ノ一種
 大ナヲ牧シテ橋車ヲ牽シメ其肉ヲ食トシ其皮ヲ衣トスル者
 多シ都テ僻遠ノ地方處々ニ部落ヲ爲ス野蠻ハ冬月土中ニ穴
 居シ蠢愚ニノ甚々開化ニ遠ク未ダ魯西亞ノ管轄ニ歸セザル者

有リ○地勢東南ノ地方ハ高山峻嶺群列シテ亞爾泰^{アルタイ}サヤンス
 等ノ山脈蒙古ノ界ニ聳エ興安嶺^{アングラ}スダノウ^ウイ等ノ山脈更ニ
 東隅ニ亘リ堪察加^{カムサツカ}ニ連ル都テ東南部ノ溪地ハ間豊壤少カラ
 ズト雖モ中央ヨリ西北ハ都テ曠漠ノ原野幾ド千里ニ連ナリ
 且ツ土地甚低平ニシテ更ニ山嶺森林ヲ見ズ西部ノ首府德波爾
 斯科^{トルスコ}ノ如キ之ヲ測量スルニ海面ヨリ高キヲ纔ニ十二丈ニシ
 テ東部ノ中央亞古斯科^{アゴスコ}ノ如キ亦二十八丈餘ニ過ギズ故ニ國
 内無數ノ川流皆源ヲ南方ニ發シ盡ク北流ノ氷海ニ注グ且全
 國沙磧ノ地多クシテ耕作スベキノ地少シ殊ニ北氷洋ノ海岸
 ノ如キハ北緯七十五度以上ニ達シ人跡到ルヲ稀ニシテ微細ニ

詳悉ス可カラズ沿岸凡ソ二千里幅六十里ヨリ二百里ニ至ルノ
 地盡ク沍寒卑濕ノ原野ニシテ絶エテ草木ヲ生ゼズ纔ニ蘚苔
 ノ種類及ヒ矮小ナル荆棘ノ生スルヲ見ルノミ其間瀦澤大川有
 リ堅氷積雪水土ヲ埋没シテ跋涉極メテ危嶮ナリ又西部ハ殊
 ニ低地ニシテ沙漠鹹湖多シ南方貝加爾湖^{バイカル}ノ近傍ニハ間膏腴
 ノ地有リテ居民耕作漁獵ヲ勉ム山中樹木繁茂シ獸類甚ダ多
 シ○國內大川數多アリ就中烏彌河^{ウミ}葉尼塞河^{エニセ}及ヒ勒拿河^{レナ}等共
 ニ廣大ナル河口ヲ爲シ皆北氷洋ニ注ク黑龍江^{クムレン}ハ上流支那ノ
 國界ヲ經テ滿州ニ入り尼哥拉斯科^{ニコラス}府ヲ過テ樺太島^{カラフト}ノ海峽ニ
 注グ共ニ亞細亞洲中ノ大河トス○氣候ハ緯度ノ高キニ從ヒ

周歲凡三分ノ二ハ隆冬ニ等シク川澤皆堅氷ヲ結ビ寒氣甚ク嚴
 ナリ且夜永クシテ晝極メテ短カシ之ニ反シテ夏月ハ晝永ク
 夜甚短キニ因リ暑氣亦意外ニ烈シク寒温儀六十八度ニ昇ル
 有リ義爾古斯科府ノ如キハ中部ノ南界ニ在リト雖モ尙大
 抵樺太島ノ北部ト緯度ヲ同ウス故ニ其他ノ地方更ニ高度ノ
 地タルヲ想察スベシ但亞古斯科府ハ勒拿ノ河流ニ濱シ概畧
 國內緯度ノ中央ニ在リ北緯六十一度五十八分冬月寒温儀ノ中數ヲ檢ス
 ルニ氷點ヨリ下ルコト三十六度トス故ニ隆冬ノ際水銀常ニ凝
 結シテ流動セザルコト三月ニ至ル又夏月ハ暑氣五十八度ヲ以
 テ中數トス然レモ其温度地中ニ入ルコト三尺ニ過ギス其ヨリ

以下ハ千古氷結ノ解ケズ總テ此勒拿ノ下流ハ地球上最モ酷
 寒ノ地ト稱ス

疆域ヲ東西二大部ニ別テ西ハ德波爾斯科東ハ義爾古斯科ノ
 政廳ニ屬ス各同名ノ首府アリ本國ヨリ大總督ヲ遣シ共ニ鎮
 臺衙府ヲ設ケ處々ニ戍兵ヲ屯シテ之ヲ管轄セシム西部ハ德
 波爾斯科及ビ多木斯科ノ兩州ニ分轄シ近頃合併シタル土耳
 其斯坦ノ一部之ニ屬ス東部ハ又葉尼塞斯科義爾古斯科痾哥
 斯科亞古斯科ヲリモルスクノ諸州ニ區別ス但テアリモルスク
 ハ滿州ノ海岸ヨリ痾哥斯科海ノ沿岸及ビ樺太ノ北部堪察加
 ヲ合セ稱ス又亞古斯科ノ東北ハ直ニ白令峽ニ臨ミ纔ニ野蠻

ノ部落ヲ成ス有ルニ過ズ人煙至テ稀ニシテ能ク此地ヲ跋渉スル者少シ

六十八

此國往時ハ土人ノ酋長有リテ各部ヲ分領セシカ蒙古ノ種屬數次之ヲ侵掠シ以テ久シク其有ト爲セリ既ニノ元朝ニ至リ太祖ノ子求赤^{ボムシ}ノ平定スル所トナリ二百五十餘年其管轄ニ屬セシカトモ三百餘年前ニ方リ魯西亞ノ國勢漸クニ振起シ百五六十十年前ヨリ全ク之ヲ其版圖ニ歸シ遂ニ此絶大ノ邦土ヲ有スルニ至レリ然レトモ其境域ヲ擴ムルノ意未^タ滿タズ嘗テ比耳西亞^{ベシヤ}ト交戦シテ裏海ノ近傍ヲ蠶食シ支那ノ地方ニ於テハ滿州ノ大半ヲ併セ領シ近年又西土耳其斯坦ノ北部ヲ併吞

シ次第ニ東北ノ地方ニ殖民ヲ爲セリ故ニ之ト境ヲ接スル邦國ハ宜ク戒心ヲ存スヘキ所ナリ歐羅巴ノ條下ヲ併セ見ルベシ○域内ノ開拓ハ其始メ魯西亞本部ヨリ遷ス所ノ流罪人ヲ以テ之ニ充ツ當時謫所ノ罪人ヲ處スル甚^ク殘酷ノ事多カリシガ近年ニ至リテハ力作ノ時限ヲ定メテ稍寛和ノ法ニ改革セリト云フ○産物ハ獸皮、礦物ヲ以テ第一トス即チ金、銀、銅、鉛、錫、汞、白金及ヒ許多ノ寶石ヲ産ス又金剛石ヲ出ス黄金ノ如キハ阿爾泰山^{アルタイ}ノ金礦殊ニ盛大ニノ每歲凡^ソ一千四百萬圓ノ量ヲ出セリ但シ石炭ニ乏シ○域内製造ノ業甚^ク盛ナラズ只土耳其斯坦ノ部内蠶糸絹帛ヲ製出区貿易ハ專ラ支那ト通ズ貨物皆隊商ヲ以テ運輸

六十九

七十
シ莫斯科ヨリ多木斯科義爾古斯科ヲ經テ貝加爾湖ニ達シ甲
他ニ至ル迄行程凡一千八百餘里日數ハ常ニ百日餘ヲ用フ○
德波爾斯科府ハ西西比利亞中ノ首府ニシテ烏彌河ノ水濱ニ在
リ人口一萬八千寺院二十五箇書籍局及ヒ製造局有リテ支那
土耳其斯坦等ト貿易樞要ノ地トス人家多クハ木材ヲ以テ造
ル○多木斯科ハ德波爾斯科ヨリ科義爾斯科ニ達スル中間ノ
都會ニシテ人口一萬三千兵學校アリ貿易多シ又此地方ノ山
中夥ク狐狸豺狼熊羆及ヒ數十種ノ鱗鼠ヲ産シ居民之ヲ打
獵シテ良皮ヲ製シ内國及ビ歐羅巴諸邦ニ輸出スルヲ每歲四
十萬頭ニ下ラズ但各國裘ニ製シ貴重スル所ノ獸皮多クハ此

地ヨリ輸出ス○西西比利亞ノ西南裏海亞拉湖及ヒ巴爾噶
什湖等ノ近傍ハ盡ク曠漠ノ原野ニシテ樹木ヲ生ゼス川流少
クシテ耕種スベカラザルノ地多シ之ヲ「キルギス」ノ沙漠ト名
ケ土耳其斯坦ニ跨リ境界分明ナラズ土人ハ韃靼ノ種屬ニシ
テ游牧ヲ業トシ各部ノ酋長之ヲ領シテ未ダ政府ノ管轄ニ歸
セザル者有リ其中或ハ盜賊ヲ業トシ隊商旅客ヲ劫掠シ或ハ
勾引ノ之ヲ賣奴トナシ近鄰ニ鬻ク者有リ故ニ此邊ヲ旅行ス
ル者常ニ兵隊ヲ以テ護衛セザルヲ得ズ又土耳其斯坦ノ一部
西爾ノ河脈ニ沿ヒ緯線三十九度ノ邊ニ至ルマデノ地近年魯
國ニ隸屬シ全ク西西比利亞中ノ一州ト爲レリ土地豐饒ニノ

蠶桑禾穀ヲ産ス繁華ノ都會數所有リ塔什干ノ如キ人口九萬
 コイェン止ハ人口五萬アリ
 義爾古斯科ハ東西比利亞ノ首府ニシテ支那ノ國界ニ近ク貝
 加爾湖ニ瀕シテ内地ノ貿易多ク全國中ノ最モ繁盛ナル地ナ
 リ人口二萬八千寺院三十三箇有リ地勢景色佳絶愛ス可シ又
 大總督ノ殿宅軍營衙府及ヒ街衢市店甚々華麗ナル貝加爾湖ハ
 表面五千七百里有リテ亞細亞中淡水湖ノ第一トス地勢阿爾
 泰山脈ノ北邊ニ接シテ其水海面ヨリ高キ一一百四十餘丈ノ
 地ニ在リ海狗及ビ魚類ヲ産スル夥ク故ニ漁獵毎ニ大獲アリ
 ト稱ス又湖水ヨリ數多ノ河脈ヲ通ズルニ因リ内地及ヒ支那

ノ貿易ニ於テ舟楫ノ利多シ然レモ十月ヨリ四月ニ至ル迄湖面
 常ニ堅氷ヲ結ブ○亞古斯科ハ人口六千ニ過キザレモ部内貿
 易ノ首場ニシテ勒拿ノ上流ニ濱シ東西比利亞ノ中央ニ在リ
 土中ヨリ象牙類ヲ出ス甚々盛ニシテ輸出品ノ一トス又北部ノ
 雪地ニ於テハ毎ニ海獅ノ牙及ビ前世界獸類ノ牙骨等ヲ掘出
 ス○疇哥斯科ハ樺太ト堪察加ノ間ノ海灣ニ在リア米理加ノ
 北地及ビ堪察加地方貿易樞要ノ地ニシテ產物蓄藏ノ府庫有
 リ○尼哥拉斯科ハ黑龍江口ニ在リ近來建設セル都邑ニシテ
 貿易未ダ盛大ニ至ラズト雖モ魯國東海ノ要地トス
 堪察加ハ國ノ東端ヨリ海中ニ突出シタル半島ニシテ長サ三

百四五十里其南端ハ羅巴德加海角ト名ケ夫ヨリ西南ノ方ニ
 向ヒ古利爾諸島ニ相連接ス全地同名ノ山脈蔓延シ高サ一千
 五百丈ニ達シ處々ニ火山有リ熊羆大鹿海狗等ノ獸類多シ半
 島中ノ人口五六千ニ過ギス其中三分ノ一ハ魯西亞人ナリ土
 人ハ穴居ノ野蠻ニシテ常ニ狗ヲ使用シ運輸ノ便ニ供ス東岸
 ニ彼得羅波爾斯科ト名クル海港有リ人口一千許魯西亞東洋
 兵備ノ要地ニシテ炮臺屯兵場アリ十四年前西巴士多卜戰爭
 ノ時英佛ノ軍艦此地ヲ攻撃セシ事アリ○狐島ハ亞細亞亞米
 理加ノ間ニ在リ總テ北氷海ノ地方ハ千古氷雪絶エズ白熊海
 獅鯨鯨等ヲ見ルノミニシテ人民ノ住居スベキ處ニ非ズ新西

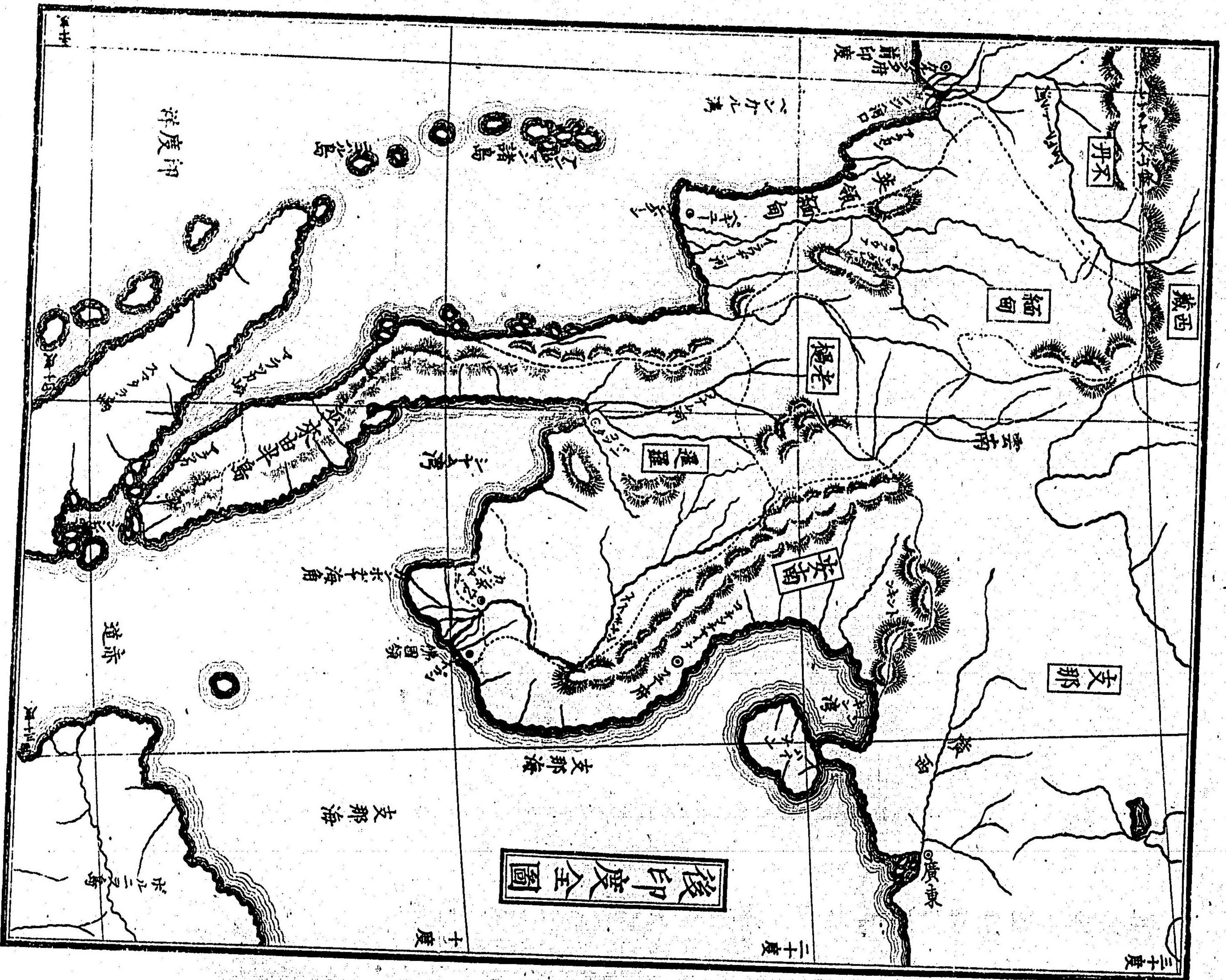
比利亞島ノ如キハ殊ニ北極ニ近ク緯線七十六度ニ至ル六十
 一年前初メテ之ヲ發見ス全島山嶽連リ氷雪深クシテ更ニ無
 人ノ境タリ

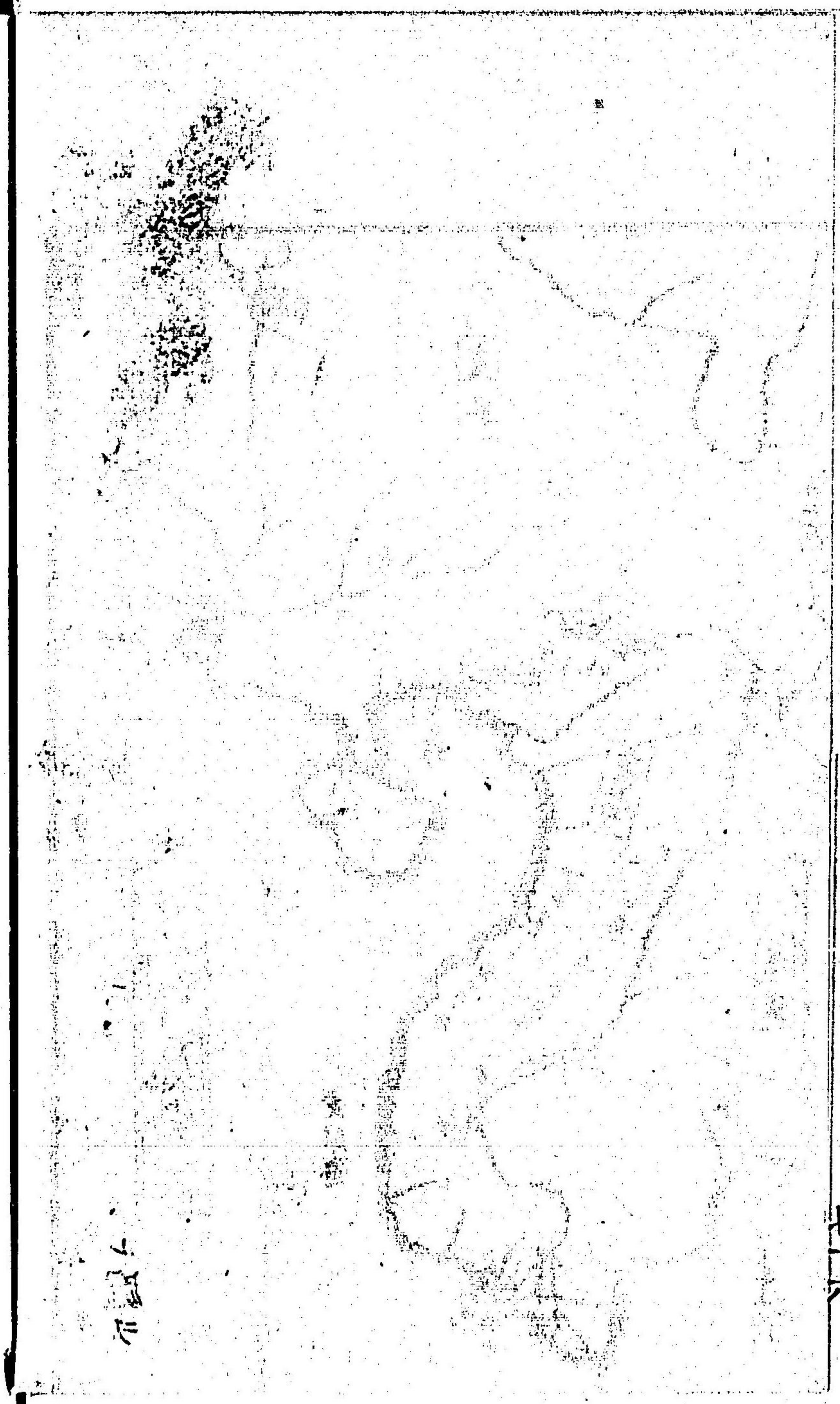
印度

印度ハ支那、西藏ノ西南ヨリ喜馬拉山脉ノ南ニ位スル大ナル土地ノ總稱ナリ地形自ラ東西兩部ニ分レ各半島ヲ爲シテ洋中ニ突出ス即支那海、印度海、亞拉比亞海、孟加拉灣等ヲ以テ之ヲ環繞セリ且其他大小ノ島嶼數多ヲ合セ之レラ東印度トモ稱ス但往時閩奄ノ亞米理加洲ヲ發見セシ時四百年西ニ向テ航海ヲ爲シ其着岸ノ地ヲ印度ノ一隅ナリト考定シ直ニ西印度ト名ケシニ因リ之ニ對シテ然云ナリ○又其東西兩部ヲ大別シテ前印度、後印度ト稱フ即東部ヲ後印度ト名ケ西部ヲ前印度又天竺ト號シ其間孟加拉

三十度

リ○又其東西兩部ヲ大別シテ前印度後印度ト稱フ即東
 部ヲ後印度ト名ケ西部ヲ前印度又天竺ト號シ其間孟加拉





七十六

灣ヲ隔テ鉛絶斯河及ビ布蘭布塔河ノ灣中ニ流注スル下
 以テ之ヲ分畫ス故ニ又歐洲人ハ後印度ヲ稱シテ鉛絶斯河
 外ノ印度トモ唱フ○印度ハ其疆域概テ熱帶中ニ在ルヲ以
 テ氣候炎熱土地膏腴ニシテ五穀豐熟シ產物甚夥ク北部ハ
 世界中ニ於テ高山ト稱スル喜馬拉ノ大山脈又雪山ト稱スヲ負ヒ
 大小ノ江河皆源ヲ此地ニ發シ南流シテ海ニ注グモノ其數
 甚多シ後印度ハ許多ノ獨立國ニ區分シ前印度ハ大畧皆英
 國ノ版圖ニ入ル其間土侯ノ領地數多有リ然レドモ概テ皆英
 國ノ管轄ヲ免レズ

後印度

七十七

後印度ハ北ノ方支那ノ雲南廣西等ニ接シテ支那海ト孟加拉灣ノ間ニ突出セル大ナル半島ヲ云フ幅員總テ十四萬九千二百八十方里ニ下ラズ其中安南暹羅緬甸等ノ獨立國有リ又西岸孟加拉灣ノ海濱ヲ英領緬甸ト稱シ英國ニ屬シ其南端ヲ巫來由半島ト名ケ數多ノ酋長アリテ之ヲ分領ス其他内地ニ老樾ト名クル地方有リ半ハ暹羅安南ニ服屬シ半ハ獨立ス都テ後印度ノ人種ハ蒙古種ニシテ酷ク支那人ニ似タリ故ニ或ハ印度支那人ト稱ス但シ狀貌風俗又大ニ前印度人ニ類スルモノ有リ且皆佛教ヲ尊信スルヲ甚ク厚シ然レモ巫來由ノ土人ハ全ク其種屬ヲ異ニシ所謂棕色人ノ本種ニノ種ヲ云フ教法亦專

ヲ回教ヲ奉ス

安南ハ交趾支那トモ稱ス北ハ支那ニ隣シ西ハ暹羅ニ界シテ後印度ノ東岸ヲ領ス又北部ノ地方ヲ東京ト稱シ南部ヲ東浦塞ト號ス全國ノ幅員三萬六千九百方里人口千二百萬有リ東京東浦塞往時ハ共ニ獨立ノ邦國ナリシガ現今ハ合併シテ安南ノ版圖ニ歸セリ但シ東浦塞ノ南部ハ尚土侯ノ領地有リ又其南端ハ近年佛土地豐饒ニシテ草木繁茂シ護謨良材米穀肉桂砂糖鐵銀等ヲ産ス國內大河アリ瀾滄又東浦塞河ト名ク源ヲ西藏ニ發シ暹羅ノ域内ヲ過ギ南流ノ東浦塞ニ至リ海ニ注ク○此國支那ト相接シテ古ヨリ互ニ往來スルニ因リ風俗相類シ土人皆好シテ詩賦ヲ誦シ頗ル文學ニ篤シ且官員ヲ舉ル論策

詩文ヲ試ミテ之ヲ登庸シ其衣冠ハ皆支那ノ古制ヲ用フ氣候
 暖熱ナルニ因リ婦人ノ服ノ如キハ單一ニシテ才ニ半身ヲ蔽
 フ者アリ○首府ヲフエ^上ト號シ支那海ニ面シテ海岸ニ在リ
 人口五萬ニ過グト云フ即國王ノ京城ニシテ宮殿華麗ヲ盡シ
 金銀ヲ裝ヒタル佛像ヲ以テ城門ヲ修飾ス殊ニ其城堡ハ堅固
 ナル砲臺ヲ繞ラシ砲門ノ數大小六百餘ヲ備フ皆歐制ニ式リ
 東洋屈指ノ要害ト稱ス蓋シ二十年前内訌起リタル時國王佛蘭
 西國ヨリ士官ヲ聘シ兵制ヲ改革シテ其亂ヲ平ゲ終ニ北ノ方
 東京ノ地及南ノ方東浦塞等ヲ畧シ今ニ至リ之ヲ領ス其他
 フ^イフ^レハ^{人口}一^萬五^千分^シヨ^シ十^萬等ノ都會アリ○東浦塞ハ大半安

南ノ領地ニ屬スト雖モ南部ヲ下東浦塞ト名ケ土侯之ヲ領シ
 半ハ佛國ニ服屬ス其都ヲ^カド^レト名ケ人口一萬五千有リ又
 瀾滄河口ノ枝流ニ沿テ柴昆府アリ人口十八萬佛國ニ屬スル
 川港ニシテ歐式ノ家屋頗ル華麗ヲ競ヒ貿易盛ニシテ郵船ノ
 碇泊處ナリ

暹羅ハ安南ノ西ニ隣シ北ハ老撾ニ跨リテ緬甸ニ接シ西ハ英領
 ニ境シ東西ニ山脈ヲ帶ビ南面ハ暹羅灣ニ濱ス域内殊ニ豐饒
 ノ地多キガ故米穀砂糖等ヲ産スルヲ夥ク支那及ビ印度諸邦
 ト貿易盛ナリ全國幅員五萬一千八百八十萬里ニシテ人口五
 百餘萬有リ首府ヲ曼谷ト云フ湄南河口ニ在リ人口三十五萬

其中支那人甚多シ即國王ノ都スル處ニシテ宮殿樓閣及ビ寺院等皆壯麗觀ルベク許多ノ尖塔巨大ノ佛像等ヲ以テ之ヲ飾リ頗ル奇異ノ形狀ヲ爲セリ又湄南ノ河水ハ廣濶ニシテ常ニ入港ノ洋船ヲ舶スベシ且家屋ヲ桴上ニ作り終歲水上ニ浮居スルモノ多シ國民ノ風俗甚前印度諸邦ニ近ク卑陋ニシテ半身ヲ裸ニシ行步跣足ヲ常トス男女皆前頭ヨリ頂ニ達シテ僅ニ斷髮ヲ存シ兩鬢ヨリシテ後部ヲ剃去ス又檳榔ノ實ヲ嚙ムニ因リ他邦ノ人烟草ヲ用フルガ如シ口唇皆赤黒ニシテ甚清潔ナラズ且國內專ラ奴隸ヲ賣買シテ之ヲ役使スルノ陋習アリ又家ヲ用ヒテ諸物ヲ搬運シ或ハ騎乘シテ戰鬪ノ用ニ供シ或ハ野獸ヲ獵

シ其他種々ノ用ニ充ツ蓋印度諸邦皆蒙ラ産スル多シト雖モ就中此地ニ産スルモノハ其形ナ殊ニ大ナルニ因リ世人之ヲ賞ス其他ノ産物ハ銀、鉛、錫、香木、象牙、犀角、藤席等ナリ○此國往時英國ト戰ヒ屢敗衄セシガ近代ノ國王ハ皆專ラ歐洲ノ事物ヲ嗜好シ親ラ善ク英佛ノ文辭ニ通シ學術貿易等ヲ勵マシ新式ノ火器蒸氣船等ヲ用ヒ國內ノ制度ニ至テモ稍變革ヲ加ヘ爾後西洋各國トノ交際親睦ナリト云フ○老臘ラウラスハ暹羅ノ北部ニシテ幅員大凡二萬二千方里人口五百萬アリト云フ然レモ甚詳ナラズ内地許多ノ酋長有リテ之ヲ分領シ中央ヨリ南部ハ大畧暹羅ニ服從シ北部ハ緬甸ニ隸屬ス然レモ又其中獨立ノ

部落有リ土人更ニ開化ニ趣カズ且土地僻遠ニシテ山嶽相接
 シ風俗甚鄙陋ナリ殊ニ北部ノ住民ハ皆文身ヲ以テ常トス
 巫來由半島ハ東岸ニ沿フテ緯線五度ニ至ル迄ノ地皆暹羅ニ
 屬ス其他南部ハ許多ノ部落有リテ土人ノ酋長之ヲ分領ス又
 西南ノ海岸馬刺加ノ地ハ英領ニ屬ス海角ノ小島ニ新嘉坡シンガポアリ
 リ東洋貿易ノ要地ニシテ郵船ノ碇泊場ナリ此地赤道下ニ在
 ルニ因テ北緯一度氣候極メテ炎熱ナリ

緬甸ハ嘗テ強國ナリシガ數英國ト兵ヲ構シテ敗績シ終ニ盡
 ク西岸ノ地ヲ割キ版圖大ニ縮小シテ國勢振ハズ初度ノ戰爭
 前ニ在リ其後十八年ニ復テ大敗シテ前然レモ今尙暹羅ト英領トニ
 一ノ沃地皮求テ割キ和議ニ及ベリ

接シテ内地三萬一千九百八十方里ヲ有シ人口四百萬アリ國
 内ニ伊犁瓦地又怒江ト名クル大河アリ舟楫ヲ通ズ河岸ニ司
 シンダレ山府有リ即チ現今ノ國都ニシテ人口未詳ナラズ或ハ云
 餘阿瓦ハ往昔ノ都ナリシガ二十九年前ノ地震ニ因リテ人家
 過半破壊シ爾來大ニ衰フ產物ハ最良ノ木材ヲ主トシ其他麻
 布、蜂蜜、象牙、金銀等有リ風俗言語ハ隣邦ト異ニシテ其佛經
 ヲ尊重スルコト尤モ深ク貴族僧侶頗ル威權ヲ擅ニス其律法ノ
 如キハ最モ嚴刻ニシテ國王ノ名ヲ呼ビ或ハ之ヲ書スルヲ禁シ
 若シ誤テ之ヲ犯ス者ハ殘刻ノ死刑ニ處ス且風俗甚々賤陋ニシ
 テ詭詐多ク男女裸體ヲ常トシ幾ト廉耻無キ者ニ似タリ英國

ト戰フノ後地ヲ割クニ至ルト雖モ國王貴族皆頑愚ニシテ尙
舊習ヲ變革スルヲ欲セズ

英領緬甸ハ孟加拉海灣ニ濱スル後印度ノ西岸ヲ云フ本緬甸
ノ一部ニシテ今ハ英國ニ歸ス幅員一萬三千方里餘人口百九十
四萬アリ其北部ヲ阿喇喀中央ヲ皮求南部ヲ德那薩靈ト名ク
處々ニ都邑多シ就中皮求ノ中刺郡ト名クル都會伊犁瓦地ノ
河口ニ在リ貿易繁盛ノ地ナリ此海岸ニ對シテ灣中ニアランダ
マシ及ビニコバル等ノ諸島アリ絶エテ產物無シ嘗テ丁抹ニ
屬セシガ現今ハ英國ニ屬シ印度ヨリ流刑ノ者ヲ謫スルノ地
トス土人ハ野蠻ノ最モ甚シキ者ニシテ曾テ開化ニ趣ク者ナ

シ

凡テ後印度ノ諸國ハ支那ト全シク古來君主專治ノ政
制ニシテ上下尊卑ノ分甚過嚴ナリ且刑罰殘刻ニシテ
國民更ニ自由ノ權ヲ得ズ蓋シ又東洋普通ノ陋習ヲ脱ル
ヲ能ハザル者ナリ殊ニ僧侶及ビ貴族ノ外ハ國民皆許
多ノ年限ヲ以テ國王ノ使令ニ供ス各國ノ歲入稅額ノ
如キ其詳ナルヲ知ル能ハズト雖モ之ヲ概スルニ皆富
強ナル者無シ緬甸ノ如キ其歲額十二萬一千圓ニ過ギ
ズト云フ兵制ハ各國共ニ其常備ノ兵卒甚少ク事有ル
ニ臨ミ遽ニ國民ヲ徵集シテ之ヲ役使ス只安南ハ常ニ

兵卒五萬ノ外ニ國王ノ親兵及戰象八百ヲ備フ又許多ノ水軍アリノ各國歐洲トノ貿易ハ更ニ盛大ナル者アラズト雖モ其中暹羅ヲ以テ稍、他邦ニ勝レリトス且、自國ノ商船ヲ以テ支那及ビ印度諸島ニ輸出ス安南ハ政府自ラ外國ノ貿易ヲ專制シ國民ノ之ヲ行フヲ許サズ其商船印度及支那ニ往來スルモノ僅ニ五六艘ニ過ギズ緬甸ハ貿易ノ規律ナク賤民私ニ之ヲ行フ然レドモ其總數ニ至テハ又甚、少カラズト云フ○氣候槩チ暖熱ナルニ因リ禽獸魚介ヨリ草木ニ至ルマデ其種類甚、多シ山林ノ中虎、豹、犀、象、野牛、猿、猴、鸚、鵡、孔雀等ヲ産ス又各

地椰樹、檳榔、芭蕉等ノ種類甚、夥ク景色亦大ニ温帶中ノ地方ト異ナリ

前印度 又 天竺國

前印度ハ北ノ方喜馬拉山脈ヲ帶ビテ西藏土耳其斯坦ニ界シ西ハ亞加業坦皮路直坦ニ接シ南ハ印度洋中ニ突出シタル地方ナリ其迤西ヲ亞拉比亞海トシ迤東ヲ孟加拉灣ト名ク其幅員二十四萬七千四百方里ニシテ人口一億九千一百六十二萬アリ城内大畧英國ノ管轄ニ屬シ直ニ其版圖ト稱スルモノ十四萬六百十五方里餘有リ其他ハ皆固有ノ侯伯自ラ邦土ヲ分領シ半バ英國ニ服屬スル者數多アリ其小ナルニ至テハ數フ

ルニ暇有ラズ或ハ領地ヲ英國ニ委テ虚名ノ王號ヲ有シ或ハ全ク之ニ依頼シテ資給ヲ仰グ者有リ又北部ニ於テ不丹^{ブタン}厄

伯爾^{ボイル}ノ二邦ノ如キハ全ク深山ノ中ニ孤立ノ未^レ英國ノ管轄ニ

歸セズ全國ノ人口大略三分ノ二ハ英領ノ内ニ在リ蓋シ又亞細亞洲中最人口稠密ナル地ニ平均ノ數方一里内

ニ九百三十餘人ヲ算ス

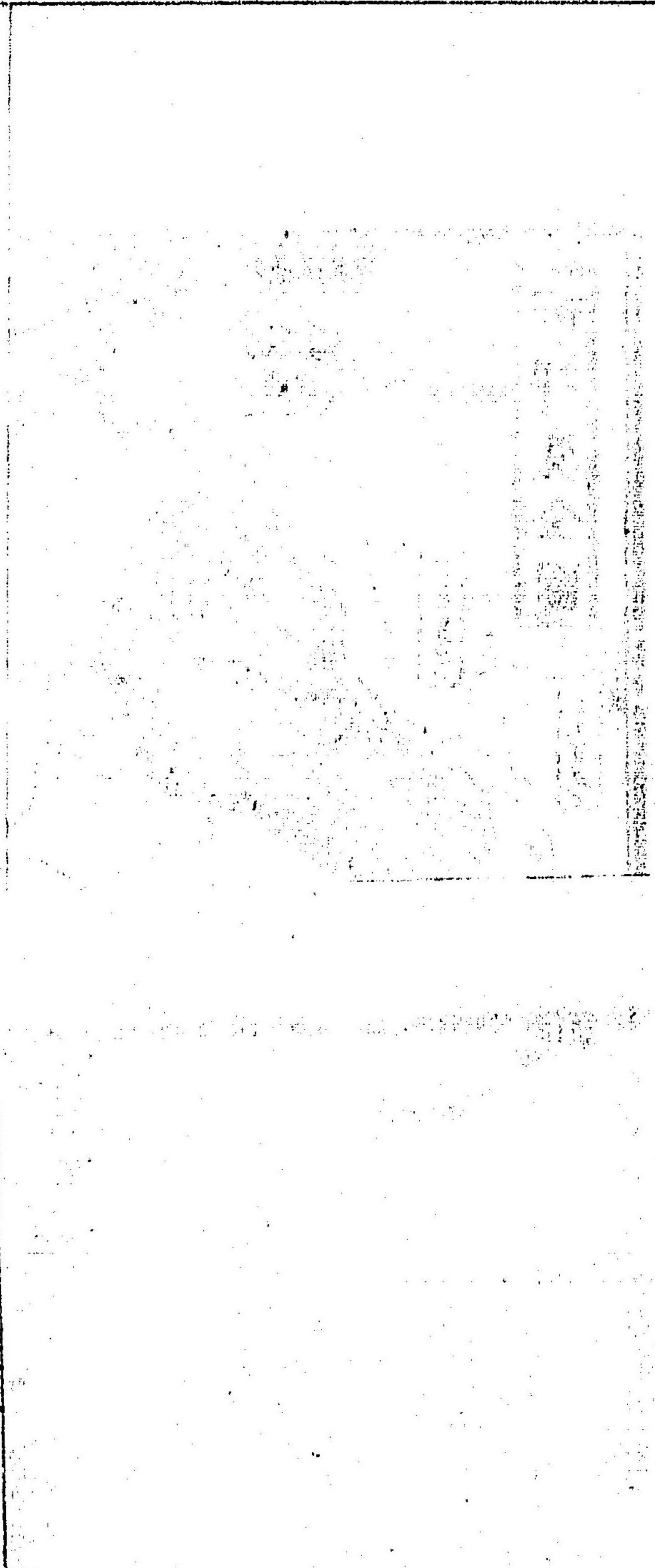
前印度ハ自然ノ地勢ニ從ヒ之^レヲ三部ニ大別ス其一^{モウナン、テリトリ}ヲ山地ト

稱シ總テ北部ヲ云フ至土喜馬拉ノ山岳層疊シテ群峯二千丈

ニ達シ冰雪常ニ消セズ平地ト雖モ頗ル高峻ノ地方トス其間

儘膏腴ノ土壤有リト雖モ人跡ノ未到ヲザル深溪幽谷多シ西

藏ノ國境ニ於テ最高ノ峯アリ不^レフレス止ト名ク高^ク二千九百





丈二里九アリ世界中ノ高山ト稱ス其二ハ喜馬拉ノ山脚ヨリ
南ノ方中央ノ平原ニシテ之ヲ元來ノ温都斯坦ト云フ東ニ安
額河アリ西ニ印度河アリ共ニ亞細亞中著名ノ大川ナリ其他
數多ノ河流アリテ土地ヲ灌溉シ氣候暖熱草木繁生シ沃野膏
壤世界ニ冠タル處ニシテ古代ヨリ人口最稠密ナル地方ト稱
ス其三ハ南部ノ海中ニ突出シタル三角狀ノ部ニシテ南端ヲ
胡莫倫海角ト號シヨ―ツノ連山海角ヨリ東西ニ分レ海濱ニ
平行シテ北走ス東ヲヨロマンデルノ海岸ト號シ西ヲ馬拉巴
爾ト稱ス此兩山脈ノ中間ニ在ル高原ヲ德干ト名ク
域内ヲ數大州ニ分テ皆副總督ヲ置テ之ヲ管轄セシム其大總

督ノ衙署ハ甲谷他府ニ在テ許多ノ議員ト俱ニ全國ノ政務ヲ
 議定シ兵馬出納訴訟等ノ事ヲ統理ス乃チ土地ノ區分ハ曰孟
 加拉東部曰西北州北部曰烏納西北部曰本若西部曰中央州中部曰孟
 東東部曰孟買西部曰馬塔喇南部等是ナリ此外英領緬甸有リ
 但英國ノ海外ニ屬地ヲ所有スルコト固リ許多ナリト雖モ殊
 ニ此國ヲ以テ第一トシ其收額每歲二億二千五百餘萬圓ニ及
 ベリ且近年其貿易ノ總數ヲ算計スルニ每歲輸入ノ貨物一億
 九千二百四十萬圓以上ニシテ此地ヨリ輸出スル所二億一千五
 百萬圓ニ下ラズ又領内ノ兵備築造等ヨリ諸般ノ公費ヲ總計
 スル時ハ其額每歲二億一千八百四五十萬圓ニ出入シ遙ニ收

額ヨリモ小ナリ但往時ハ每歲百萬圓ヨリ二百萬以上ノ不足
 有リシヲ以テ或ハ國債ト爲シ或ハ本國ヨリ之ヲ補ヒシモノ
 ナリ○國內ノ武備ハ十年前常ニ三十餘萬ノ兵ヲ備ヘシト雖
 モ近年ハ平穩ナルニ因リ十六萬五六千ニ過ギズ其中土人ヲ
 精練シテ兵隊トセルモノ十萬ニ過グ之ヲ叙跋兵ト名ク
 温都斯坦ノ部ハ前ニ記スルカ如ク肥饒第一ノ地ニシテ往時
 久シク莫臥爾國王下ニ詳ノ所領ニ歸シ歷代其都セシ處ニシ
 テ當時威力甚盛大ナリシガ嗣後漸ニ衰廢シテ内訌止マズ殊
 ニ六十年前ニ至リ國內分裂シ馬刺他ノ酋長獨立シテ王ヲ稱
 シ莫臥爾ノ勢更ニ縮削セリ然ルニ馬刺他復々近世英國ト兵ヲ

構シ終ニ敗績シテ其版圖大畧英國ニ歸セリ但英國ノ商船東洋ニ航海ヲ爲シ始メテ此國ニ通商セシハ二百六十餘年ニ在リ爾來處々ニ都會ヲ建テ貿易場ヲ開キ英人ノ移住スル者頗ル多ク終ニ其土地ヲ購ヒ得或ハ内亂ニ乘ジテ疆域ヲ擴メ次第ニ許多ノ邦土ヲ合領スルニ至レリ和蘭佛國ノ領地又歐洲戰亂ノ際英領ニ歸ス是レ皆英國巨商ノ社ヲ結ビ東洋諸國ノ貿易ヲ主管スル者ニシテ之レヲ東印度商社ト號シ其勢甚富盛ニ至リシカバ社中ヨリ大頭領ヲ擇ヒテ領内ノ事務ヲ督セシメ更ニ土人ヲ雇フテ兵卒ト爲シ即叙破兵ヲ云フ久シク其使用ニ供セリ然ルニ其法令公平ナラズシテ苛虐ノ措置多カリシニ因リ十一年前ニ於テ叙

跋兵等亂ヲ起シ國內之ニ響應シ大ニ商社ニ抗敵シ舉テ邦土ヲ回復シ全ク英人ヲ驅除セントス其勢甚強盛ニシテ商社ノ力之レヲ鎮壓スルヲ能ハズ遂ニ土地ヲ政府ニ委メ因テ英國政府ヨリ大ニ兵ヲ出シ戰爭數年ニシテ全ク之ヲ平定シ更ニ内地ノ王侯ヲ服屬セシメ益々版圖ヲ擴ムルニ至レリ爾來本國ヨリ大總督ヲ遣シ文武ノ官員ヲ置キ城内ノ事務ヲ分司セシム是レヨリ政令公平ニ歸シ國人亦其恩惠ヲ蒙ルヲ多ク殊ニ前者ノ比ニ非スト云フ

印度ハ產物多クシテ草木禽獸ヨリ金石珠玉ニ至ルマデ其種類甚夥シ就中金剛石及ダイヤモンド其他ノ寶石等ニ富ミ鐵石炭等ヲ產

スルヲ其數ヲ知ラズ金剛石ハ近世ニ至リ其產殊ニ衰フト雖
 モ嘗テ巨大ナル名譽ノ至寶ヲ出セルヲ算フルニ暇アラズ又
 鍍石炭及各種ノ礦物等ハ近頃之ヲ出スヲ愈盛ナリ其他米
 穀鴉片海鹽生絹木綿砂糖輕羅油硝石藍青等ハ皆此國主
 眼ノ產物ニシテ實ニ其人口ノ稠密土壤ノ肥沃ナル古代ヨリ
 世界ノ推シテ第一ト稱スル處ニ背カズ然レ其人民開化ノ域
 ニ進歩セズシテ次第ニ貧困ニ迫リ國勢振ハズ終ニ他國ノ管
 轄ニ屬スルハ蓋古來君主擅制ノ政治國民ノ不羈自由ヲ妨ケ
 加フルニ婆羅門ノ教法久ク全國ノ人心ヲ惑溺セシメ終ニ殘
 忍固陋ノ風習ヲ養成シテ政教共ニ人民ノ知識ヲ消滅セシム

ルニ因ルソミ其衰フルモ亦異ムニ足ラズ

域内ノ居民八分ノ七ハ印度人ト名ケ即元來ノ土人ヲ云フ其
 他ハ亞拉比亞人蒙古人韃靼人歐羅巴人支那人等ナリ歐羅
 巴人ハ概テ皆英國ヨリ移住セル者ニシテ其數十五萬ニ過ギズ
 印度人ハ其色赭黒ナリト雖モ高加索種ニ屬シ身體容貌壯偉
 ニシテ温和ノ氣象ヲ具ヘ禮儀ヲ尙ビ技能ニ巧ナリ且文學ヲ
 好ミ梵字サンスクリット古語ニシテ現今日
用ノ事ニ用ヒズヲ以テ書シタル許多ノ深遠高妙
 ナル書アリ學者競フテ之ヲ講習スルヲ甚盛ナリ且國人皆
 神佛ヲ信仰シ種々ノ偶像ヲ作テ之ヲ尊崇シ因果冥福變生地
 獄等ノ空理ニ惑溺スルヲ特ニ甚シク好テ靈山靈場等ヲ順拜

ス其古來尊信スル所ノ教ハ所謂婆羅門教ニシテ遙ニ釋迦ノ
 佛教ニ先チ盛ニ域内ニ行ハル佛教ハ殊ニ錫蘭島ニ盛ナリ主トスル所ノ神
 三體アリ其一ヲ婆羅門造物主其二ヲウカスニ回復其三ヲ
 シ破滅ノト各ク其他附屬ノ神佛數ヲ知ラス皆奇異非常ノ
 狀貌ヲ具フ又好デ自ラ其身體ヲ艱苦セシメ食ヲ斷テ痛ヲ忍
 ビ以テ冥福ヲ祈ル者多シ甚シキハ自ラ靈車神佛ノ像ヲノ轍
 下ニ轆死シ或ハ其子女ヲ以テ犧牲ト爲シ之ヲ安額河中ニ投
 シテ鱈魚ノ食ニ供シ以テ死後ノ幸福ヲ希フ等ノ如キ最モ殘
 忍蠢愚ノ風習ト謂フベシ又夫ノ病死スル時ハ其妻自ラ火中
 ニ投シテ殉死スルヲ常トス近來英國政府ヨリ令ヲ出シテ之

ヲ禁ズト雖モ國俗其固有ノ陋習ニ深漬シテ全ク改ムルコトヲ
 欲セズ國內又回教ヲ奉○國俗古ヨリ門地家系ヲ區別スルコト
 甚ク嚴ニシテ國民ヲ四類ニ分チ第一ヲ婆羅門僧侶第二ヲ刹帝利侯族及
 第三ヲ吠舍商賈及第四ヲ成達羅農トシ共ニ之ヲ卑賤ノ者トシ互ニ相嫁娶スルコトヲ禁ズ
 若シ此區別ヲ犯ス時ハ嚴刑ニ處ス且貴族ハ平民ト席ヲ同ウシ
 テ言語ヲ交ルコトヲ爲サズ自ラ尊大ニシテ平民ヲ視ルコト恰モ
 異類ノ如クス其陋愚ナルコト推テ知ルベシ
 域内繁盛ノ都會甚ク多シ首府甲谷他ハ人口百萬ニ過ギ之ニ次
 デ孟買、馬塔喇ノ二府人口五十萬ニ過グ其他人口二十萬以上

ニ至ルノ都會六所盧各腦伯那利斯八的拿聶離海德把巴
イプル是ナリ又人口二十萬以下十萬以上ニ至ル者合セテ十
五箇五萬ニ過グル者廿九箇ニ下ラズ

孟加拉州ハ安額ノ河脉部内ヲ灌漑シ最モ水利ノ便ヲ得テ殊

ニ饒豐ナル地方ナリ安額ノ河口ヨリ凡四十里餘同河ノ分流

「カルク」河ニ濱シテ首府甲谷他有リ人口一百萬三千餘大總督

ノ殿宅及ビ許多ノ官局等總テ歐式ノ築造壯麗ニシテ道路方

正市街頗ル繁華ナリ殊ニ貿易ノ盛大ナルハ亞細亞洲中ノ主

眼ニシテ入港ノ商船毎歲二千餘隻ニ下ラズ且此地ヨリ諸州

ノ都府ニ達スル鐵道ノ設ケアリ岐路ヲ分チテ廣ク内地ニ通

ス故ニ旅客ノ往來貨物ノ運送ニ於ル更ニ自在ナリ就中聶離府

ニ達スル鐵道ノ如キハ其長サ大凡四百五十里ニ過グト云フ

其他ノ鐵道七條有リ亞細亞中鐵道ノ盛ナル此國ヲ以テ最ト

ス全國ノ鐵道今已ニ落成セルモノヲ合セ算スルハ其長サ

二千二百四十里又印度領兵備ノ本營ニシテ全府ノ要害甚堅固ナ

リ其維廉堡ノ如キハ大炮六百二十門ヲ備ヘ常ニ兵卒八萬ヲ屯

ス○又市街ノ中富豪ナル土人ノ居宅ハ往々華麗ノモノ有リ

ト雖モ槩スルニ土人住居ノ市街ハ別ニ一區ヲ爲シ皆陋隘ナ

ル矮屋ニシテ汗穢ヲ極メ貧窶ノ形象見ルニ堪ヘズ洋人之

ヲ暗街ト名ク又府内ニ古代國人ノ造築セル堂塔有リ其結構

頗ル奇功ナリ此類ノ遺物又内地處々ニ多ク存シ更ニ壯觀ヲ

極メタル佛堂寺院等アリ○印度中鴉片ヲ産スルノ地處々ニ有リト雖モ殊ニ此州ヲ以テ第一トス安額河ノ近傍ハ最モ盛ニシテ白花ノ罌粟ヲ培植スル田畝其長サ二百四五十里幅八十餘里ニ互ル處アリ此地ニテハ十一月末ヨリ一月ニ至リ花開キ滿地積雪ヲ見ルガ如シ實ヲ結ブニ及デ其外莢ヨリ液汁ヲ採リ鴉片ヲ製ス今域内ノ輸出ヲ通計スルニ十數萬函價五千三四百萬圓ニ過グ此内支那一國ニ輸送スルモノ十分ノ九ニシテ其餘ハ緬甸馬刺加婆羅等ノ諸國ニ鬻ク蓋シ其利莫大ナリト雖モ文明政府ノ之ヲ禁ゼザルハ又異ム可シトス○西北州及ビ烏納州共ニ人口稠密ノ都會多ク處々ニ大ナル製造

局アリ州内ノ首府伯那利斯ハ人口三十萬安額河ニ濱シ土人ノ富豪多ク此地ニ住ス其他阿拉哈巴ハ口十万五千フイザバトト等人口十二三萬ニ過グルノ都會數多アリ○本若州ハ亞加業坦ト接シ部内砂漠アリ其中聶離府ハ西北州ノ界ニ在リ往時莫臥爾王ノ都セシ處ニシテ現今ハ人烟甚テ減少スト雖モ尙廿萬有リ其古代宮殿ノ兵火ニ燒殘セルモノ及ビ歷代國王ノ墳墓等壯麗ヲ盡セルモノ今尙存セリ其他勞爾アムリツ匹等ノ都會アリ○馬塔喇州ハコロマンド匹ノ海濱ヲ包シテ半島ノ内地ニ巨ル土侯ノ領地許多アリテ英領ト犬牙相接ス然レモ皆英國ノ管轄ヲ受ク其首府州ト同名ニ人口ハ七十二萬アリ甲谷他

ニ次キ印度東岸ノ一大都會ナリ壯麗ナル大學校、書庫、寺院等
 アリ只地勢港ヲ爲ザルヲ以テ船舶ノ碇泊ニ便ナラズ此處ヨ
 リ半島ヲ横截シテ直チニ孟買府ニ達スル鐵道有リ長サ百七
 十里ニ過グ其他アルカッ止人口四萬威拉合爾人口五萬ルラ人口三萬列ン人口四萬等ノ都會アリ就中列ン人口四萬ハ更ニ繁盛ナ
 ル地ニシテ壯麗無雙ナル古代ノ佛堂アリ○孟買州モ亦土侯ノ
 領地相雜リ許多ノ英領其間ニ連續ス首府孟買ハ西岸第一ノ
 大都會ニシテ人口八十一萬七千海岸ニ接シタル島上ニ在リ堤
 坊ヲ築キテ大陸ニ連テ且巨萬ノ費ヲ以テ新ニ埠頭ヲ構造セ
 リ其船舶ノ碇泊ニ便ナル域内ノ第一ニシテ比耳西亞亞拉比亞

等ノ商船又夥シク入港シ貿易ノ盛ナルハ殊ニ甲谷他カルクマッタニ亞グ
 又アマガバツ止ト名ケル都會アリ人口十三萬往時東印度商社
 ノ始テ貿易ヲ開キシ地ニシテ百餘年前ニハ殊ニ繁盛ナリシナ
 リ又埔拿ポナハ人口八萬有リ故馬刺他國ノ都ナリ
 尼桑ニサムハ本土侯伯中ノ最大ナル者ニシテ德干デカンノ内地許多ヲ領
 ス其都ヲ海德ハイデ拉巴ラバト名ケ人口二十萬有リ佳麗ナル佛堂、殿宅、
 庭園等多クシテ市街頗ル繁盛ナリ金剛石及ビ種々ノ寶石ノ
 飾具ヲ鬻グ其他マイソル列ラワンユル列グリヲ列カヤラ止
 等ノ侯伯有リ是等ハ皆英國ニ依頼シテ大總督ニ服從シ半バ
 英ノ屬地ニ等シキ者ナリ但シ小ナルヲ合セ算スルキハ其數ニ

百箇ニ下ラズ蓋外藩ノ如○克什米爾ハ西北ノ界ニ在テ直ニ
土耳其斯坦ニ接ス部内喜馬拉山脉重疊シ高峻ナル連峰雪際
ニ兀起ス最モ僻境ナリ土侯之ヲ領シ近來更ニ英國ノ管轄ニ
歸ス

尼泊爾ハ喜馬拉山中ノ東部ニ在テ其地南北ニ狭ク東西ハ二
百里ニ亘ル所謂イフネス山峰部内ニ在リ不丹ハ尼泊爾ノ東
ニシテ共ニ西藏ニ隣シ尙獨立ヲ稱ス其僻遠ノ山中ニ在ルヲ
以テ風俗甚平常ノ印度人ニ異ナリ皆各土侯有テ之ヲ領シ
部下ヲ專制ス此二邦未ダ英國ノ管轄ニ歸セズ
錫蘭島ハ前印度海角ノ東南ニ接近セル大島ニシテ巴爾克ノ

海峽ヲ隔ツルコト凡廿四里全島長サ百二十里人口二百七萬餘
アリ往時ハ葡萄牙ノ所領ナリシガ二百餘年前和蘭ニ屬シ其
後終ニ英國ニ歸ス島内嶮峻ノ山地多シト雖モ亦豐沃ノ土壤
少カラズ山中夥シク寶石鑛物及良材ヲ産ス就中シナモント
名ル木材ハ堅牢ニシテ船材ニ用フルニ宜シ近年咖啡ヲ産ス
ルコト殊ニ盛ニシテ毎歲輸出ノ額三千餘萬斤ニ過グ其他砂糖
煙葉、米穀、木綿等ヲ産ス島中ニ象多シ因テ象牙ヲ出ス然レモ
他方ノ産ニ比スレバ其形大ナラズ又海峽ノ中夥シク眞珠ヲ
出ス西岸ニ可倫破ト名クル都會有リ人口七萬即島中ノ首府
ナリ又洞イントデ、ゴー匹、ハ西南岸ニ在リ人口三萬郵船ノ碇

泊場タリ共ニ樞要ナル海港トス此島ハ上古釋迦ノ教法ヲ修シタル地ニシテ山中ニ遺跡靈場存シ且佛堂寺院有リテ土人皆佛教ヲ尊信ス

域内英領ノ外佛蘭西フランス葡萄牙ポルトガルノ領地少許有リ大サ合ヒテ纔ニ二百十六方里ニ過ギズ其佛國ニ屬スルモノ馬塔喇マタラノ東岸ニ於テ本地治里有リ土地狹小ナレバ頗ル華麗ノ都會トス佛國ヨリ總督ヲ置ケリ又葡國ノ領地ハ孟買ボンバイノ西岸ニ在リ俄亞ロシアト名クル都會アリ往時ハ繁盛ナリシガ今ハ甚衰敗セリ又新俄亞ニウロシア有リ現今葡領ノ首府トス人口二萬ニ過ギズ前印度ノ草木禽獸ハ大略後印度ニ相類シ虎豹犀象椰樹檳榔等多ク殊ニ温都斯坦ノ西部ニ於テハ稀ニ獅子ヲ産ス又巨川大澤ノ間ニ鱈魚多ク其大ナル者

ハ往々八畜ヲ害スルニ至ル尙印
度海諸島ノ條下ヲ參考スベシ

前印度畧史此國上古ヨリ人民繁殖シ夙ニ邦國ヲ爲セシ

事支那埃及等ト其孰カ前後タルヲ知ル可ラズ故ニ其年紀及藐古ノ事跡ニ至ッテハ殊ニ之ヲ詳ニスル能ハズ此國ノ古書ニ據ルニ往々世界振古ノ事ヲ記載スト雖モ固ヨリ虛誕ニシテ信ズルニ足ラズ蓋國ノ著書概テ教書ト相錯雜シ專ラ神佛ノ靈現功德ヲ説クヲ主トスルヲ以テ傳フル所亦皆奇怪ノ空説ニ亘リ更ニ實事ヲ稽フル能ハザルナリ然レバ奕世國王交々立テ系統相承ケ屢沿革有リシコト亦疑フヘカラズ彼釋迦ノ如キモ王家ノ太子ニシテ

ヲ棄テ教ヲ開キシ一凡二千四百餘年前ニ在リ諸説甚々異同アリ或ハ云フ二千四百零一年前ニ卒スト又西史ニ巴比倫人バビロニア非尼亞人フェニシア等印度ニ通商セシ一ヲ記載スルヲ見レバ當時已ニ此國人民繁衍シ都邑ノ盛ナルヲ徵スルニ足ル降テ希臘歷山王ノ大舉ノ東征スルニ方リ比耳西亞ヲ平定シ進デ此國ヲ侵略シ安額河ノ上流ニ至リシ事有リ時ニ城內瓜裂ノ數多ノ邦國ニ分ル、ヲ以テ其兵力ヲ合一シテ之ヲ防グ能ハズ累戰皆歷山王ノ爲メニ擊破ラル其後各邦或ハ合シ或ハ分レ許多ノ歲月ヲ歴タリシガ回教ノ兵亞拉比亞ニ起リ漸ク四隣ヲ蠶食シ千餘年前ヨリ遂ニ温都斯坦ヒンドウスタンノ西部

ニ侵寇ス因テ本土ノ侯伯互ニ防戰スト雖モ之ニ敵スル能ハズ各部ノ都邑皆陷レラレ久ッカラズノ内地概テ其畧スル所ト爲リ回教ノ徒次デテカテ攻撃シ全土大畧之ニ服屬スルニ至ル是ニ於テ亞拉比亞ノ種屬域内ニ跋扈シ百餘年間殺戮ヲ恣ニシ貨賄ヲ劫掠シテ政令最モ殘刻ヲ極メシカハ國內爭擾絶エズ加之北邊ヨリ蒙古ノ野民屢々内地ニ侵入シテ抄掠ヲ擅ニシ國力大ニ衰フ但シ此頃回教ノ徒互ニ和セズノ各土地ヲ分領シ疆内數多ノ邦國ヲ爲セリ其後又屢々蒙古人韃靼人ノ來寇スルニ遭ヒ國民其殘害ヲ蒙ル甚々多シ就中四百七十二年前彼帖木兒ノ大舉

ン此國ニ侵入セシ時ノ如キ莫大ノ貨財人畜ヲ掠奪セラ
 レ所在ノ都府皆燒夷ニ屬シ人民ノ屠戮セラル、者其數
 ヲ知ラズ殊ニ首府聶離ヲ陷ルニ迫ンテハ俘虜十萬ヲ擧
 テ盡ク鑿殺セシト云フ然レモ久シカラズノ帖木兒軍ヲ班シ
 土耳其斯坦ニ歸リシカバ爾後百餘年間域内稍小寧ヲ得
 テ本土ノ侯伯互ニ邦土ヲ分領シ概チ支丹ノ尊號ヲ稱セ
 リ但レ回教種屬ノ系統ナリ然ルニ三百四十三年前帖木兒ノ
 後裔ハベル王土耳其斯坦ノ南部及
亞加業坦ヲ領セリ大軍ヲ將井テ又域内ニ
 侵犯シ支丹イブラヒムト戰ッテ大ニ之ヲ破リ聶離ヲ陷レ
 終ニ温都斯坦ノ全部ヲ平定ノ大莫臥爾國ヲ建ツモゴル
ハ蒙古

ト同義ナリト云フ元來王位
ノ尊號ナレモ亦國號ニ用フベル王久シカラズ卒シ嗣
 子ハマイン位ニ即クニ及ビ土侯蜂起シテ國內大ニ亂
 レ之ヲ鎮壓スル能ハズベル王暫ク故國ニ退去セ
 シト雖モ後復々大舉ノ温都斯坦ノ全部ヲ戡定シ都ヲ聶離
 ニ定ム或ハ此王ヲ以テ莫
臥爾王ノ初世トス即チ三百十四年前ニ在リ其嗣子
 大アクバルハ慄悍ナル兵力ヲ以テ更ニ四方ヲ征討シ版圖
 ヲ擴メ克什米爾等ヲ亡ホシ次第數代ヲ經テキールンゼッ
 ン王ニ至リ益々威武ヲ輝カシ次第ニ南部ヲ蠶食シ全ク
チカン德里ノ地方ヲ合シ領ス是ニ於テ前印度ノ疆域盡ク其所轄
 ニ歸セリ此王殘忍暴戾ニシテ下民ヲ侵漁シ貨財ヲ聚斂シ

大ニ土功ヲ起シ奢侈ヲ極メ金銀寶玉其府庫ニ充實セリ
 百四十一年前其卒スルニ及ビ内亂忽チ四起シ威力大ニ衰
 フ之レニ因テ諸州ノ鎮臺侯伯等概チ皆獨立ノ莫臥爾王ノ
 命ヲ奉ゼス德干ノ地ノ如キ又一國ヲ爲セリ此時ニ當リ
 汎ナシル比耳西亞ニ起リ大舉ノ域内ニ侵入シ盡ク國王
 ノ府庫ヲ畧シ巨萬ノ人畜財貨ヲ掠メテ去ル然レテ人民更
 ニ之レニ抗スル能ハズ國勢益衰微ノ振ハス次テ又亞加業
 坦ノ爲メニ數度轟離ヲ攻撃セラレ都城半バ燒夷ニ屬シ
 復々如何トモスル能ハズ莫臥爾王其自ラ守ル能ハズルヲ
 知り終ニ邦土ヲ英國ニ委テ其資給ヲ仰ギ今ニ於テハ僅

ニ虛名ノ王號ヲ稱スルニ過キズ○歐洲諸國ノ海路ヨリ
 此國ニ通ゼシハ葡萄牙ヲ初メト爲ス前ニ云フガ如シ
 當時域内分裂シ回教ノ王侯互ニ割據ノ勢ヲ爲スニ方リ
 葡人處々ニ貿易ヲ開キ或ハ間ニ乘シテ次第ニ其土地ヲ
 蠶食ス次テ和蘭英吉利佛蘭西等ノ船舶亦來リテ貿易ヲ
 通セリ然ルニ西班牙王非立二世新ニ葡國ノ領地ヲ統轄
 セシヲ以テ和蘭ノ船隊東印度ヲ襲ヒ盡ク葡人ヲ逐フテ
 其地ヲ畧シ併セテ錫蘭島ヲ奪ヘリ然ルニ英國商社ノ勢
 日ヲ逐テ盛大ニ越キ印度ノ貿易ヲ專管スルニ至リ更ニ
 和蘭ト和セズ殊ニ拿破崙ノ騷亂ノ時英國ノ兵盡ク和蘭

海外ノ屬地ヲ掠奪スルニ至リシカバ錫蘭ノ如キ亦永ク
英領ニ歸セリ且佛國領地ノ此國ニ在ルモノ亦英國トシテ
不和ニ因テ概テ其併スル所ト爲リ爾後商社ノ勢盛ニシ
漸ク内地ノ侯伯ヲ服屬セシメ以テ方今ノ形勢ヲ爲スニ
至レルコト即本文ニ畧序スルガ如シ

輿地誌畧卷二終

正誤

卷一、四十丁 海面ハ二千四百二十九萬七千方里餘ノ七千
ハ三千ニ改ム

卷一、百四十七丁 羊蹄山ノ羊蹄ハ後志ノ誤ナリ百六十二丁
ノ羊蹄モ亦然リ

卷一、百五十三丁 地神ノ世ハ神代三世ノ誤ナリ

卷一、百五十四丁 八大學區ノ區分ハ當今七大學區ニ改正ア
リ即東京大坂及愛知廣島長崎新潟宮城ノ諸縣ヲ本部トス
卷一、百五十五丁 五十音ハ伊呂波四十七字ノ誤ナリ又分註
ニ本邦固有ノ文字其傳ヲ失フト云ヘルハ今尙世ニ神代文

字ト唱フル者アリト雖其果シテ然リヤ否ヤヲ知レル者甚少クシテコレヲ確定シ難キヲ以テナリ

卷一百六十丁 津輕秋田越國等ノ越國ノ二字ハ削リ去ルベシ

卷一百六十丁 本邦ノ開化ハ古來云々ノ一章ハ盡除キ去ルベシ但此章古來王化ノ西ヨリ東ニ敷及セル其勢ヲ概論スルニ過キスト雖字句未_レ穩當ナラズシテ事實稍_レ精確ナラザル所有リ今改定セント欲スルニ印刷既ニ成レルヲ以テ止ムコトヲ得ズシテコレヲ存ス讀者宜_ク此意ヲ了スヘキナリ

卷一百六十一丁 其國朝鮮ノ近傍ナリト云ヘル一句改メテ

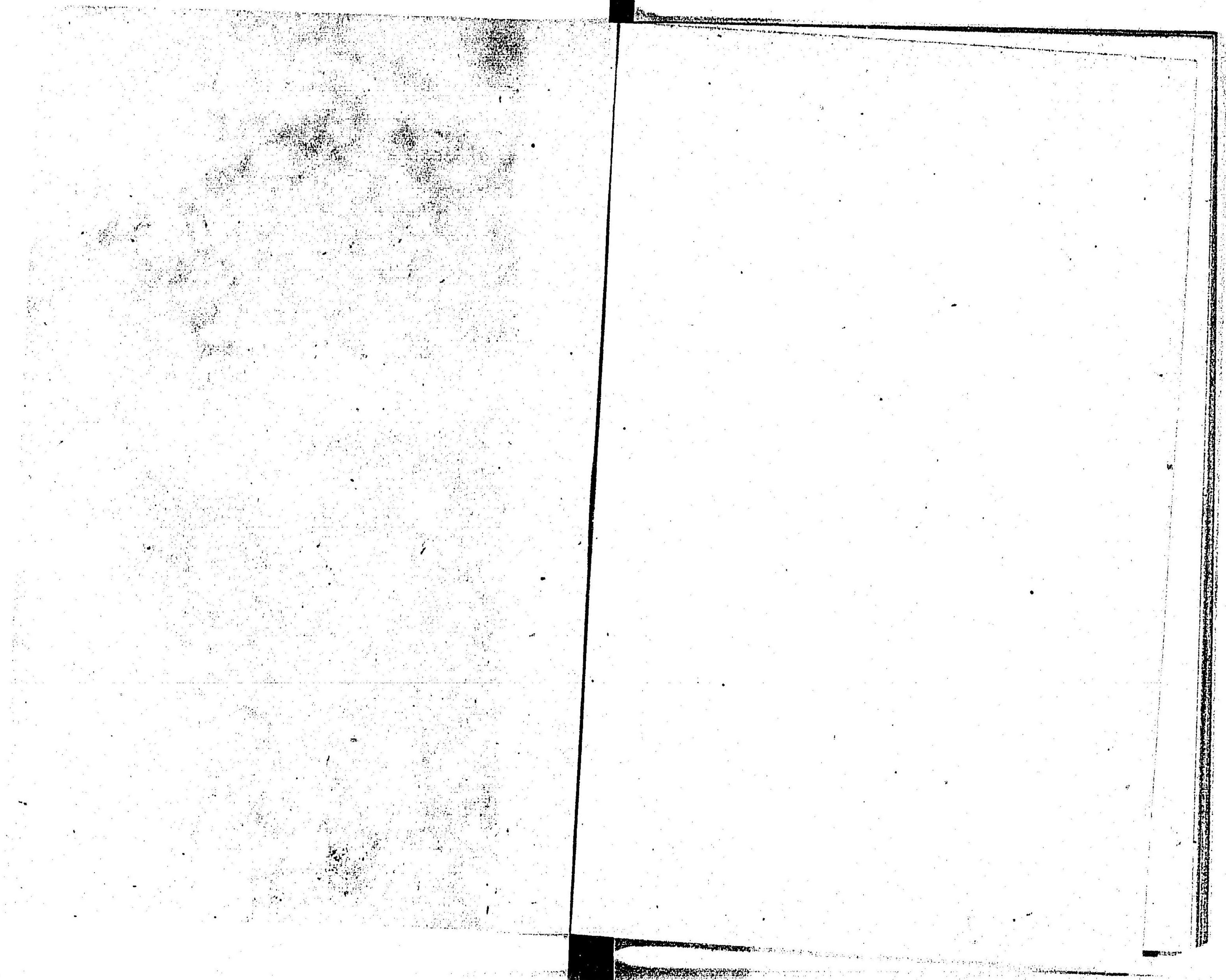
其國新羅百濟ノ隣國ナリニ作ルヘシ

卷二正誤

- 二丁五行 「伊犁」ノ假名ハ「イリ」ノ誤ナリ
全丁十行 「稱トス」ハ「ト稱ス」ノ誤ナリ
七丁九行 「重ス」ハ「重ソス」ノ誤ナリ
十三丁四行 「金元」ハ「金元等」ニ改ム
二十二丁一行 「白河」ハ「北河」ノ誤
三十五丁三行 「弗」ハ「圓」ノ誤
四十一丁二行 「京畿道」ノ假名ハ「京畿道」ノ誤ナリ（シキキノキンキトウ亦同シ）
四十三丁四行 「喀爾喀」ノ假名ハ「カルカス」ノ誤ナリ

四十四丁十行 「兩前府」ハ「前兩府」ノ誤
四十七丁六行 「六百餘年」下「前」字ヲ脫ス
五十六丁五行及ヒ七行ノ「平原」ハ「平地」ニ改ム
六十二丁六行 「墨領」ハ「白令」ノ誤
七十丁六行 「科義爾斯科」ハ「義爾古斯科」ノ誤
八十一丁九行 「八十萬里」ハ「八十方里」ノ誤
九十丁二行 「不丹」ノ假名ハ「ブータン」ノ誤
九十二丁三行 註「半島ノ中」ノ下「央」ヲ脫ス
九十四丁二行 「六十餘年」ノ下「前」字ヲ脫ス
百十丁一行 「四百」ハ「三百」ニ改ムベシ

全 二行 註「四百零」ハ「四百十」ノ誤



定
一
平
三
錢
五
厘

